

IBM System x IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager ユーザーズ・ガイド

バージョン5.0



IBM System x IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager ユーザーズ・ガイド

バージョン5.0

お願い -

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、101ページの『著作権表示および商標』に記載 されている情報をお読みください。

Edition notice

This edition applies to version 5.0 of the IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration ManagerUser's Guide and to all subsequent releases and modifications until otherwise indicated in new editions.

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

- 原典: IBM System x IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager User's Guide Version 5.0
- 発行: 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 担当: トランスレーション・サービス・センター
- 第1刷 2014.3
- © Copyright IBM Corporation 2014.

目次

構成項目の編集
構成項目の複製
構成項目の削除
構成の説明ファイルに構成データをエクスボート35
構成の説明.xml ファイルのインボート38
ライセンス検証状況の検査
SCCM 用の IBM Configuration Pack にエクスホー
► (Exporting to IBM Configuration Pack for
SCCM)」機能
構成項目を IBM Configuration Pack .cab ファイ
構成項目を SCCM コンソールにエクスホート44
IBM Configuration Pack を SCCM 2007 コンソール
に適用
DCM への構成データのインボート
構成項目のプロパティーの表示52
基準の作成
ベースラインをコレクションに割り当てる 59
エンドボイントの基準の評価
評価レポートの表示
ホーム・ページの概要作成の実行
IBM Configuration Pack を SCCM 2012 コンソール
に適用
DCM への構成データのインボート 69
構成項目のプロパティーの表示
基準の作成
ベースラインをコレクションに割り当てる 80
エンドポイント上でのベースラインの評価 83
評価レポートの表示
IBM Configuration Capture の実行
笠 4 音 ハードウェアセトバリフトウェア
のリホート · · · · · · · · · · · · · · · · · 95
第5章 トラブルシューティング 97
著作権表示および商標 101

iv System x IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 $\neg - \vec{ t v} - \vec{ t v} \cdot \vec{ t l} + \vec{ t v}$

×

1.	インストール・ウィザードのウェルカム・ペー	
	ジ	. 5
2.	インストール・ウィザードのご使用条件	. 5
3.	「試用バージョン」ページ........	. 6
4.	「宛先フォルダー」ページ.......	. 6
5.	「プログラムをインストールする準備ができま	
	した (Ready to Install the Program)」ページ .	. 7
6.	インストール状況ページ	. 7
7.	インストール完了ページ	. 8
8.	「ライヤンスがありません」ダイアログ・ボッ	
0.	クス	10
9	IBM Configuration Pack Editor のメイン・ウィ	10
	ンドウ	10
10	「General Information」ウィンドウ	11
10.	「勘定コレカションの情報」ウィンドウ	12
11.	Droperty Thresholds & S	12
12.	「Troperty Thresholds」、 ン	13
13.	「Setting Editor」 ワインドワ	14
14.		19
15.	「設定コレクション・ワスト (Setting Conection	20
16	LISU) $912F9$	20
10.		21
1/.	Dependent Threeholds AT	22
18.	「Property Infesholds」 クノ	22
19.		23
20.	「複製」ダイアログ・ワイントワー・・・・・	23
21.	General Information」 リイントワ	24
22.		25
23.	Asu.exe 快田週知ワイントワ	26
24.	「設定コレクンヨンの追加」ワイントワ	26
25.	「設在コレクンヨン」選択ワイントワ	27
26.	「設定コレクンヨンの追加」ワインドワとリス	•
		28
27.		29
28.	構成項目のフロパティー	29
29.	Configuration Pack Editor - 「一般情報」 ワイン	
	FD	30
30.	$ \text{IMM Account} \mathcal{P7} \dots \dots$	31
31.	Asu.exe 検出通知ワインドワ	32
32.	「設定コレクション」タブ	32
33.	「設定コレクションの追加」選択ウィンドウ	33
34.	構成項目の複製機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
35.	「複製」ダイアログ・ウィンドウ	34
36.	構成ファイルへのエクスポート	35
37.	「構成の説明 (.xml) にエクスポート」ウィン	
	Кф	36
38.	「構成の説明ファイルにエクスポート (Export	
	to configuration description file)」ウィンドウ	37
39.	「エクスポートが正常に完了しました」ウィン	
	ドウ	37
40.	「構成ファイルのインポート」メニュー	38

41.	「構成 XML ファイルのインポート」ウィンド ウ	30
42	シー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39
72.	ンドウ	39
43.	「ライセンス」メニュー・オプション	40
44.	License Entitlement $\dot{\mathcal{D}}$	41
45.	「SCCM 2007 用の IBM Configuration Pack に	
	エクスポート (Export to IBM Configuration	
	Pack for SCCM 2007)」ウィンドウ	42
46.	「Export to IBM Configuration Pack」ウィンド	
	<i>ф</i>	43
47.	「エクスポートが正常に完了しました」ウィン	
	ドウ	43
48.	「構成項目の選択」ウィンドウ......	44
49.	「SCCM コンソール位置情報」 ウィンドウ	45
50.	「構成項目情報」ウィンドウ.......	45
51.	「エクスポートが正常に完了しました」ウィン	
	ドウ	46
52.	構成のインポート・ウィンドウの機能	47
53.	エクスボートされた IBM Configuration Pack	
	.cab ファイルの追加	48
54.	エクスボートされた .cab ファイルの選択	48
55.	Authenticode 著名の確認をスキッフしますか?	
	(Skip Authenticode Signature Check?)」 ワインド	10
		49
56.	選択した .cab ノアイルのインホート	50
57. 50		50
50.	正吊松」のワイントワ	51
59. 60	「設定」タブ	52
61	「段足」シン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	54
62	「新しいConfiguration Baseline」機能	55
6 <u>3</u>	「構成其進の作成」ウィザード	56
64	「アプリケーションと一般」リンク	57
65	「構成項目の選択」ウィンドウ	58
66.	構成項目が示された「アプリケーションと一般	00
	(applications and general)」リンク	59
67.	「コレクションに割り当てる」機能	60
68.	「コレクションの選択」ウィンドウ	60
69.	「スケジュールの設定」ウィンドウ	61
70.	「コントロール パネル」フォルダー内の	
	Configuration Manager	62
71.	アクションが開始されたことを示すウィンドウ	63
72.	「構成」タブ.............	64
73.	SCCM クライアント・エージェントの状況	65
74.	「レポートの表示 (View Report)」ボタンが使	
	用可能になっている「構成」タブ	66
75.	値を返さない評価対象の設定値	67
76.	Windows イベント・ビューアーのログ	67
77.	「ホーム ページの概要作成の実行」機能	68
78.	基準レホート	69

79.	「構成データのインポート」機能 70
80.	エクスポートされた IBM Configuration Pack
	.cab ファイルの追加
81.	エクスポートされた .cab ファイルの選択 71
82.	「パブリッシャー検査 (Publisher Check)」ダイ
	アログ・ボックス
83.	選択した .cab ファイルのインポート 73
84.	構成データの確認
85.	正常終了のウィンドウ
86.	インポートされた構成項目を持つ SCCM 75
87.	「設定」タブ
88.	「検出方法」タブ
89.	「Configuration Baselineの作成」機能 78
90.	「構成の追加 (Add Configuration)」ウィンドウ 79
91.	「構成項目の追加」ウィンドウ80
92.	「コレクションにデプロイ (Deploy to a
	Collection)」機能
93.	「構成ベースラインの割り当て (Assign
	Configuration Baseline)」機能
94.	「コントロール パネル」フォルダー内の
	Configuration Manager

95.	アクションが開始されたことを示すウィンドウ	84
96.	「構成」タブ.............	85
97.	「レポートの表示 (View Report)」ボタンが使	
	用可能になっている「構成」タブ	86
98.	評価された結果の要約	87
99.	Windows イベント・ビューアーのログ	87
100.	修復された規則	87
101.	ウェルカム・ページ	88
102.	ASU ファイルの選択	89
103.	「一般情報」ページ	89
104.	情報の収集	90
105.	IMM 設定值	91
106.	uEFI 設定值	91
107.	UEFI (Romley プラットフォーム) 設定値	92
108.	「IMM Account」が正しくない......	93
109.	「Export」ページ	93
110.	エクスポートが正常に完了しました	94
111.	IBM Configuration Pack Editor - Setting	
	Editor $\checkmark \neg \neg \neg $	99

表

viii System x IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 ユーザーズ・ガイド

本書について

本書では、IBM[®] Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 をインストールし、これを使用してお客様の環境で IBM 構成データ を作成および管理する手順について説明します。

規則および用語

本書で使用されている注意書き

以下の注意書きは、重要な情報を強調するために使用されています。

- 注: これらの特記事項は重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを提供します。
- **重要:** これらの特記事項は、不都合なまたは困難な状態を避けるために役立つ情報 またはアドバイスを提供します。
- 注意: また、これらの特記事項では、プログラム、デバイス、またはデータへの考 えられる損傷を示します。損傷が起こりうる指示または状態の前には警告通 知が表示されます。

本書で使用されている用語

次のリストは、本書で使用されているいくつかの用語、頭字語、および省略語を説 明したものです。

構成項目

構成項目

- ASU IBM Advanced Settings Utility
- SCCM Microsoft System Center Configuration Manager
- **DCM** Desired Configuration Management

IBM システム構成設定

1 つの IBM 構成設定は IMM/uEFI の 1 つのプロパティーとその予期値を 定義しており、そのプロパティーが予期値に準拠していない場合はエラーを 返します。

IBM システム構成設定コレクション

1 つ以上の IBM システム構成設定を含む設定コレクション。このリリース では、1 つのコレクションは IMM または uEFI のファームウェア・タイプ を備えています。

IBM システム構成項目

他の IBM 設定コレクションから構成されている 1 つの構成項目。

IBM System Configuration Description IBM 構成設定/構成項目情報を含んでいる XML ファイル。

DCM 構成項目

Desired Configuration Management システムの基本的な構造単位を指します。

DCM 構成設定

他の構成設定から構成されている 1 つの構成設定。それぞれの構成設定で 評価条件と重大度を定義できます。

DCM Configuration Baseline

他の**構成項目**から構成されている 1 つのConfiguration Baseline。基準は、 SCCM クライアント・コレクションに割り当てることができます。それらの基準をエンドポイントで評価できます。

IBM Configuration Pack

IBM Configuration Pack は 1 つの .cab ファイルであり、構成項目とベース ラインを含んでいます。 IBM Configuration Pack を DCM サーバーにイン ポートすることにより、構成項目とベースラインをインポートすることがで きます。

ダイジェスト・スキーマ

DCM では、Desired Configuration Management ダイジェスト定義 (XSD) は Desired Configuration Management 文書 (構成項目) (つまり、要素に課され ている制約、表示できる属性、それら属性の相互の関係、および属性に含め ることができるデータ型) を定義しています。IBM Configuration Pack XML ファイルは、DCM サーバーにインポートできるダイジェスト・スキーマの 標準に沿っている必要があります。

IBM 構成データ

IBM システム構成項目構成項目、IBM システム設定コレクション、および IBM システム設定はまとめて IBM 構成データと呼ばれます。

IBM Configuration Pack Editor

IBM 構成項目および設定コレクションを作成し、IBM 構成データをIBM Configuration Pack/構成記述にエクスポートできるエディター。

IBM Configuration Capture

このツールは IBM サーバーから IMM/UEFI/UEFI (Romley プラットフォーム) 設定値をキャプチャーし、キャプチャーした設定値を Configuration Description にエクスポートすることができます。

情報リソース

IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 の 追加情報は、WWW 上で入手することができます。

PDF ファイル

PDF 形式で提供されている資料を表示および印刷します。

Adobe Acrobat Reader のダウンロード

PDF ファイルを表示または印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。コピーを Adobe Reader Web サイトからダウンロードすることができます。

PDF ファイルの表示と印刷

IBM System x Integration Offerings for Microsoft Systems Management Solutions Web サイトにある PDF ファイルは、すべて個別に表示または印刷が可能です。資 料ごとの製品ページを見つけるには、用意されているリンクをクリックしてください。

World Wide Web リソース

以下の Web ページでは、IBM System x、BladeCenter[®] ブレード・サーバー、およびシステム管理ツールの理解、使用、およびトラブルシューティングに役立つリソースが掲載されています。

IBM System x Integration Offerings for Microsoft Systems Management Solutions

ここでは、IBM Configuration Pack for Microsoft System Center

Configuration Manager v5.0 の最新のダウンロードを見つけることができます。

IBM サポート・ポータル

IBM ハードウェアおよびシステム管理ソフトウェアのサポートを見つけま す。

IBM ServerProven[®] ページ

IBM Server Proven Compatibility for System x and xSeries hardware, applications, and middleware $\neg \neg \vartheta$

IBM ServerProven Compatibility for BladeCenter products $^{\sim}-^{\checkmark}$

IBM System x、 IBM BladeCenter、および IBM IBM IntelliStation[®] ハード ウェアとのハードウェア互換性に関する情報を取得します。

System Center Technical Resources ページ

System Center Configuration Manager のサポートを見つけます。

xii System x IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 ユーザーズ・ガイド

第1章 IBM Configuration Pack for Microsoft(tm) System Center Configuration Manager の概要

バージョン v5.0 の新機能

試用ライセンスのサポート

この製品のインストール時に製品ライセンスがアクティブ化されていない場 合は、試用ライセンス・サポートが自動的にアクティブ化されます。完全な 試用ライセンス・サポートを確実に受けるには、システム時刻を正確に設定 します。試用ライセンスがアクティブにされた後、試用期間は 90 日間で す。試用期間中は、プレミアム・フィーチャーが使用可能です。試用期間が 残り 5 日を過ぎると、有効期限を知らせる通知が 24 時間ごとに表示され ます。試用ライセンスの有効期限が切れた後は、製品ライセンスをアクティ ブ化しない限り、プレミアム・フィーチャーは使用できません。製品ライセ ンスは、以下から入手できます。

IBM Upward Integration for MSSC

フリー (無料) フィーチャー

このリリースには、以下の機能が含まれています。

IMM/UEFI/UEFI (Romley プラットフォーム) 設定値のキャプチャー

IBM Configuration Capture は IBM サーバーから IMM/UEFI/UEFI (Romley プラットフォーム) 設定をキャプチャーし、キャプチャー した設定を IBM システム構成記述ファイルにエクスポートできま す。エクスポートされた構成記述ファイルは IBM Configuration Pack Editor にインポートできます。

プレミアム・フィーチャー

以下のフィーチャーは、v4.0 以降の有効な製品ライセンスによって使用可能にされる有料の機能です。

SCCM コンソールへの IBM System 構成項目のエクスポート:

構成項目を SCCM コンソールにインポートし、それらを SCCM ク ライアント・コレクションに割り当てる機能。

以下のフィーチャーは、v3.0 以降の有効な製品ライセンスによって使用可能にされる有料の機能です。

IBM システム構成データの作成:

IBM システム構成データは、IBM 構成項目、IBM Configuration 設 定コレクション、および IBM 構成設定で構成されます。このリリ ースでは、IBM システム構成データのスコープは IMM/uEFI 設定 値です。

IMM/uEFI の共通設定値のサポート:

IBM Configuration Pack Editor は、IBM システム構成設定の作成に 役立つ IMM/uEFI のいくつかの共通設定値をサポートしています。

- IBM システム構成データの IBM Configuration Pack へのエクスポート: IBM Configuration Pack は、.cab ファイル内に構成項目および設定 コレクションを含んでおり、DCM 標準に準拠しています。この IBM Configuration Pack を DCM サーバーにインポートすることが できます。
- IBM システム構成データの構成の説明へのエクスポート: 構成の説明は構成データを記述した XML ファイルです。ユーザー は構成データを共有および編集することができます。IBM 構成デー タを構成の説明にエクスポートしたり、構成の説明を IBM Configuration Pack Editor にインポートしたりすることができます。
- IBM System 構成の説明のインポート:

構成の説明ファイルをインポートできます。このファイルには、1 つ以上の IBM 構成項目および設定コレクションが含まれている可 能性があります。

IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 による IBM システムのサポート

IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 に は、IMM/uEFI 設定を検査するための手段が用意されています。エンドポイントで 検証する設定値を作成するには、IBM Configuration Pack Editor を使用します。

対象となる IBM 構成データは、IBM Configuration Pack Editor によって、SCCM DCM にインポートできる構成パック・ファイル (.cab) にエクスポートできます。 管理者は、それらの構成データを SCCM で特定のコレクションに割り当てることが できます。このような構成データには vbscript (ASU.exe ツールを起動してエンドポ イントの準拠性を検証する) が含まれます。

Advanced Settings Utility (ASU)

IBM Advanced Settings Utility (ASU) を使用すれば、 DOS、Linux、Solaris、Windows (WinPE を含む) などの、複数のオペレーティン グ・システム・プラットフォームでコマンド行からファームウェア設定を変更でき ます。このユーティリティーは、BIOS コード、リモート管理アダプター・ファーム ウェア、リモート管理アダプター II ファームウェア、ベースボード管理コントロー ラー・ファームウェア、IMM などをサポートしています。

注: IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 は ASU v3.60 以降をエンドポイント上で使用します (http://www-947.ibm.com/ support/entry/portal/docdisplay?Indocid=TOOL-ASU)。

注:

注: IBM 構成データには ASU.exe は含まれていないため、ここで説明するように ASU.exe をエンドポイント上の次のロケーションにコピーする必要があります。

ASU.exe ファイル (32 ビット OS の場合) または ASU64.exe ファイル (64 ビット OS の場合) をシステム・ディレクトリーの IBM_Support¥ASU¥ フォルダーの下にコ ピーします (例: C:¥IBM_Support¥ASU¥asu.exe、C:¥IBM_Support¥ASU¥asu64.exe)。

ASU.exe のロケーションは、HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥(Wow6432Node) ¥IBM¥ASU¥ の下にあるストリング・キー「Location」を更新することで、レジストリ ーに手動で記録する必要があります。

また、IBM Configuration Pack Editor で ASU.exe の絶対パスを入力することもできます。

4 System x IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 ユーザーズ・ガイド

第2章 IBM Configuration Pack v5.0 のインストール

手順

 IBM Configuration Pack v5.0 インストーラー (.exe ファイル) をダブルクリッ クします。 IBM Configuration Pack のウェルカム・ページが開きます。



図1. インストール・ウィザードのウェルカム・ページ

2. 「次へ」をクリックして、「使用許諾契約書」ページに進みます。

🕞 IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manag 💶 🔲 🗙				
Software License Agreement				
Please read the following license agreement carefully.				
MPORTANT: READ CAREFULLY				
Two license agreements are presented below.				
1. IBM International License Agreement for Evaluation of Programs 2. IBM International Program License Agreement				
If Licensee is obtaining the Program for purposes of productive use (other than evaluation, testing, trial "try or buy," or demonstration): By clicking on the "Accept" button below, Licensee accepts the IBM International Program License Agreement, without modification.				
C I accept the terms in the license agreement.				
I go not accept the terms in the license agreement. InstallShield				
Print < Back Next > Cancel				

図2. インストール・ウィザードのご使用条件

- 3. 「使用条件の条項に同意します」を選択して使用条件に同意します。
- 4. 「次へ (Next)」をクリックします。 製品ライセンスがアクティブ化されていな い場合は、「試用バージョン」ページが開きます。それ以外の場合は、「宛先フ ォルダー (Destination Folder)」ページが開きます。
- 5. 「試用バージョン」ページで「**IBM に問い合わせる**」をクリックして有効な製 品ライセンスを入手してから「次へ」をクリックすれば、「宛先フォルダー (Destination Folder)」ページに進むことができます。

记 IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration	Manager, v4 🗙
Trial Version	
License not detected	
License is not found on this server. The trial period of this product lasts for 90 days. Contact IBM	
< <u>B</u> ack	Cancel
図 3. 「試用バージョン」ページ	

6. 「宛先フォルダー (Destination Folder)」ページで「変更」をクリックすれば、 IBM Configuration Pack をインストールするディレクトリーを変更できます。



図4. 「宛先フォルダー」ページ

7. 「次へ」をクリックして、「プログラムをインストールする準備ができました (Ready To Install the Program)」ページに進みます。

eady to Install the Program			1
The wizard is ready to begin installation			
Click Install to begin the installation.			
If you want to review or change any of exit the wizard.	your installatio	in settings, click	Back, Click Cancel to
allShield			

- 図 5. 「プログラムをインストールする準備ができました (Ready to Install the Program)」ページ
 - 8. 「**インストール**」をクリックしてインストール・プロセスを開始します。



図 6. インストール状況ページ

9. 「終了」をクリックしてインストールを完了します。



図 7. インストール完了ページ

IBM Configuration Pack v5.0 のアンインストール

IBM Configuration Pack v5.0 をアンインストールする方法は 4 つあります。

- (推奨方法) IBM Configuration Pack v5.0 インストーラー (.exe ファイル) を実行 して「除去」オプションを選択する。
- 「プログラムの追加と削除」 (オペレーティング・システムが Microsoft Windows Server 2008 の場合は「プログラムと機能」)からアンインストールする。
- IBM Upward Integrated Installer を使用する (詳しくは、IBM Upward Integrated Installer ユーザーズ・ガイドを参照)。
- 「スタート」メニューのアンインストール・ショートカットを使用する。

注:構成データを作成してある場合は、アンインストール・プロセス中に構成データのフォルダーを削除するかどうかが通知されます。

第3章 IBM Configuration Pack および Microsoft System Center Configuration Manager の操作

IBM Configuration Pack v5.0 を使用すれば、IBM 構成データを作成して IBM Configuration Pack にエクスポートすることが簡単に行えます。

簡単な説明

IBM Configuration Pack for SCCM v5.0 を使用すると、SCCM DCM サーバーにイ ンポートできる IBM 構成データを簡単に作成できます。SCCM DCM サーバーは IBM 構成データをクライアントに割り当てて、そのクライアントが準拠しているの かどうかを評価します。

IBM Configuration Pack および SCCM DCM の使用方法を以下の手順で概説します。

- 1. 評価する IBM 構成データを作成します。構成データは、以下のいずれかの方法 で作成できます。
 - IBM Configuration Pack Editor で IBM 構成データを作成します。詳しくは、 11ページの『設定コレクションの作成』、および 24ページの『構成項目の 作成』を参照してください。
 - IMM、UEFI、および UEFI (Romley プラットフォーム) モジュールがある IBM サーバーから IBM 構成データをキャプチャーします。詳しくは、88 ペ ージの『IBM Configuration Capture の実行』を参照してください。
- 2. 作成した IBM 構成データを SCCM DCM サーバーにエクスポートします。詳 しくは、41 ページの『構成項目を IBM Configuration Pack .cab ファイルにエク スポート』、および 47 ページの『DCM への構成データのインポート』を参照 してください。
- IBM 構成データを SCCM クライアントに割り当て、評価します。詳しくは、 59ページの『ベースラインをコレクションに割り当てる』、および 61ページの 『エンドポイントの基準の評価』を参照してください。

IBM Configuration Pack Editor の実行

「スタート」メニューから IBM Configuration Pack Editor のショートカットをクリ ックすれば、IBM Configuration Pack Editor を起動できます。

試用ライセンスの有効期限が切れていて、ライセンス資格が IBM System Configuration Server でアクティブ化されていない場合、IBM Configuration Pack Editor は、ライセンス資格をアクティブ化するように求めるメッセージ・ボックス を表示します。



図 8. 「ライセンスがありません」ダイアログ・ボックス

IBM Configuration Pack Editor は、次のウィンドウを表示します。



図 9. IBM Configuration Pack Editor のメイン・ウィンドウ

ウィンドウの左側のナビゲーション・ペインには、以下の項目が含まれています。

- 「ホーム」ツリー
- 設定コレクション・ツリー
- ・ 「構成項目」ツリー

ホーム・ページ

このホーム・ページには、IBM Configuration Pack Editor の使用を開始する際の手 引きとなる次の 3 つの連続した領域が示されています。

- 「設定コレクション」リスト
- 構成項目
- Export to IBM Configuration Pack

「設定コレクション」ペイン

このボックスには、「設定コレクションの作成」と「設定コレクションの表示」という 2 つのリンクがあります。

- 「設定コレクションの作成」をクリックすると、IMM/uEFI 設定コレクションを 作成できるウィザードが開きます。
- 「設定コレクションの表示」をクリックすると、「設定コレクション」のツリー 項目が表示されます。このツリー項目から既存の設定コレクションを表示できま す。

設定コレクションの作成 このタスクについて

手順

1. 設定コレクションの名前と説明を入力し、「次へ」をクリックします。

注:「名前」フィールドに名前は必須ですが、説明はオプションです。

IBE Configuration Pack Editor - Create Setting Collection	
General Information Enter a name and (optional) description for your new configuration item and click "Next" to continue.	
Name:	
Description:	
	<u>~</u>
< Back Next > Einish	Cancel

図 10. 「General Information」 ウィンドウ

2. 新しい設定コレクションの設定タイプを選択します。

注: 設定値の型は、作成後に変更することはできません。

IBM Configuration Pack Editor - Create Setting Collection	×
Setting Collection Information	IBM
Select a setting type and then click "Next".	Step 2/3
Setting Type:	
IMM	
IMM	
UEFI UEFI(Romley Platform)	
< Back Next > Finish	Cancel

図11. 「設定コレクションの情報」ウィンドウ

3. 「次へ (Next)」をクリックします。「プロパティーしきい値」ページが開きま す。

BIB∎ Configuration	Pack Editor - C	reate Setting Co	llection	X
Property Thresho Click "Add" to add propertie property. Then click "Finish"	ds s, "Modify" to modify prop	erties, or "Remove" to	remove a	IBM. Step 3/3
<u>A</u> dd <u>M</u> odify	Remove			
Property Name	Comparator	Expected Value	Severity	Description
<	111			>
	< <u>B</u>	ack Next >	<u> </u>	<u>C</u> ancel

 \boxtimes 12. [Property Thresholds] $^{\sim}-^{:}$

4. 「**Add**」をクリックして新しいプロパティーしきい値を追加します。「設定エデ ィター」ウィンドウが開きます。

escription:	Controls which drivers aware adapters boot option ROMs to boot a legacy boot	option ROMs the loaders; Legacy O legacy OS; Both: I	Boot Manager uses nly: skips UEFI-awa poots UEFI mode if t	UEFI Only: UEFI- re drivers, runs
				hat fails, then tries
omparator:	Equals	*	Value: UEF	I and Legacy
everity:	Information	•		
Remediate nonco	mpliant IMM/UEFI setting get setting is readonly.	values on client au	itomatically. The rem	ediation action may
Expected Value:	UEFI and Leg	acy 💌		
When the property'	BootModes.SystemBootM	ode" "Equals" "UE	FI and Legacy", the period	property is compliant
When the property on the endpoint. Ot	BootModes.SystemBootM herwise, the property is no	ode" "Equals" "UE n-compliant and r	FI and Legacy", the j eturns a severity of "	property is com Information".

- 5. 以下のフィールドに入力します。
 - プロパティー名: (「コレクション情報の選択 (Selecting Collection Information)」ウィンドウの「設定タイプ」で以前に選択した内容に応じて) 特定の IMM、UEFI、または UEFI (Romley プラットフォーム) 設定を選択します。
 - コンパレーター: リストの各プロパティー名には、
 String、Integer、Version、Data Time などの戻りの型が関連付けられます。そのため、次の表に示されているリスト項目からコンパレーターを選択する必要があります。

表1. 戻りの型別の比較演算子

戻りの型	コンパレーター	説明
String	等しい	評価プロパティーが Expected Value に等しい場合、そのプ ロパティーはエンドポイント で準拠しています。そうでな い場合、そのプロパティーは 準拠していません。
	等しくない	評価プロパティーが Expected Value に等しくない場合、そ のプロパティーはエンドポイ ントで準拠しています。そう でない場合、そのプロパティ ーは準拠していません。
	含む	評価プロパティーが Expected Value を包含している場合、 そのプロパティーはエンドポ イントで準拠しています。そ うでない場合、そのプロパテ ィーは準拠していません。
	いずれか	評価プロパティーが「予測 値」にリストされているいず れかの値である場合、そのプ ロパティーはエンドポイント で準拠しています。そうでな い場合、そのプロパティーは 準拠していません。

表1. 戻りの型別の比較演算子 (続き)

戻りの型	コンパレーター	説明
Integer	等しい	評価プロパティーが Expected Value に等しい場合、そのプ ロパティーはエンドポイント で準拠しています。そうでな い場合、そのプロパティーは 準拠していません。
	等しくない	評価プロパティーが Expected Value に等しくない場合、そ のプロパティーはエンドポイ ントで準拠しています。そう でない場合、そのプロパティ ーは準拠していません。
	/j\	評価プロパティーが Expected Value より小さい場合、その プロパティーはエンドポイン トで準拠しています。そうで ない場合、そのプロパティー は準拠していません。
	以下	評価プロパティーが「予測 値」以下である場合、そのプ ロパティーはエンドポイント で準拠しています。そうでな い場合、そのプロパティーは 準拠していません。
	より大	評価プロパティーが Expected Value より大きい場合、その プロパティーはエンドポイン トで準拠しています。そうで ない場合、そのプロパティー は準拠していません。
	以上	評価プロパティーが Expected Value 以上である場合、その プロパティーはエンドポイン トで準拠しています。そうで ない場合、そのプロパティー は準拠していません。

表1. 戻りの型別の比較演算子 (続き)

戻りの型	コンパレーター	説明
Version	等しい	評価プロパティーが Expected Value に等しい場合、そのプ ロパティーはエンドポイント で準拠しています。そうでな い場合、そのプロパティーは 準拠していません。
	等しくない	評価プロパティーが Expected Value に等しくない場合、そ のプロパティーはエンドポイ ントで準拠しています。そう でない場合、そのプロパティ ーは準拠していません。
		評価プロパティーが Expected Value より小さい場合、その プロパティーはエンドポイン トで準拠しています。そうで ない場合、そのプロパティー は準拠していません。
	以下	評価プロパティーが「予測 値」以下である場合、そのプ ロパティーはエンドポイント で準拠しています。そうでな い場合、そのプロパティーは 準拠していません。
	より大	評価プロパティーが Expected Value より大きい場合、その プロパティーはエンドポイン トで準拠しています。そうで ない場合、そのプロパティー は準拠していません。
	以上	評価プロパティーが Expected Value 以上である場合、その プロパティーはエンドポイン トで準拠しています。そうで ない場合、そのプロパティー は準拠していません。

	売き)
--	-----

戻りの型	コンパレーター	説明
Data Time	等しい	評価プロパティーが Expected Value に等しい場合、そのプ ロパティーはエンドポイント
		で準拠しています。そうでな い場合、そのプロパティーは 準拠していません。
	等しくない	評価プロパティーが Expected Value に等しくない場合、そ のプロパティーはエンドポイ ントで準拠しています。そう でない場合、そのプロパティ ーは準拠していません。
	小	評価プロパティーが Expected Value より小さい場合、その プロパティーはエンドポイン トで準拠しています。そうで ない場合、そのプロパティー は準拠していません。
	以下	評価プロパティーが「予測 値」以下である場合、そのプ ロパティーはエンドポイント で準拠しています。そうでな い場合、そのプロパティーは 準拠していません。
	より大	評価プロパティーが Expected Value より大きい場合、その プロパティーはエンドポイン トで準拠しています。そうで ない場合、そのプロパティー は準拠していません。
	以上	評価プロパティーが Expected Value 以上である場合、その プロパティーはエンドポイン トで準拠しています。そうで ない場合、そのプロパティー は準拠していません。

Severity: Information、Warning、Error の 3 つのレベルのいずれかを選択します。設定がエンドポイント上の予測値に準拠していない場合は、その設定から、選択された重大度レベルが返されます。

設定の後、「選択の要約」において、対応するプロパティー・フィールド、値フ ィールド、コンパレーター・フィールド、および重大度フィールドが自動的に入 力されます。

注: プロパティー・サポート・リストに存在しないプロパティーを入力できます が、IBM Configuration Pack Editor はそのプロパティーを String 型であるとみ なします。つまり、「コンパレーター」には、「Equals」、「Not Equals」、「Contains」、および「One Of」のみがリストされます。その場合でも、プロパティーの予測値を入力する必要があります。

さらに、「**設定コレクション**」には、重複する値を設定できます。

6. 新しいプロパティーしきい値の追加が完了したら、「Apply」をクリックしま す。

Add Modify Remove Add Modify Remove Property Name Comparator Expected Value Severity IMM.BasicAdapterConfigPriv Equals Yes Warning IMM.HTTPPort Less or Equals 80 Information IMM.RemotePowerPriv Contains Yes Error IMM.HTTPPort Less 80 Error	
Add Modify Remove Property Name Comparator Expected Value Severity IMM.BasicAdapterConfigPriv Equals Yes Warning IMM.HTTPPort Less or Equals 80 Information IMM.RemotePowerPriv Contains Yes Error IMM.HTTPPort Less 80 Error	Step 3
Property Name Comparator Expected Value Severity IMM.BasicAdapterConfigPriv Equals Yes Warning IMM.HTTPPort Less or Equals 80 Information IMM.RemotePowerPriv Contains Yes Error IMM.HTTPPort Less 80 Error IMM.HTTPPort Less 80 Error	
IMM.BasicAdapterConfigPriv Equals Yes Warning IMM.HTTPPort Less or Equals 80 Information IMM.RemotePowerPriv Contains Yes Error IMM.HTTPPort Less 80 Error	Description
	Modify "Adapt Configure the Modify "Remo Configure the
¢]	2

図 14. 「プロパティーしきい値」ウィンドウ

 設定を変更するには、設定を選択して「変更」をクリックするか、または単に設 定をダブルクリックします。設定を削除するには、1つ以上の行項目を選択して 「除去」をクリックします。

設定コレクションの表示

このタスクについて

「**設定コレクションの表示**」をクリックすると、右ペインに「設定コレクション」 リストが表示されます。

🖡 IBM Configuration Pack Editor			
File Import Export Help			
Home Setting Collections BM IMM Settings GueFI Remiley Platform Settings uEFI Settings Collection	Setting Collections A Setting Collection represents a de New Setting Collection	sired object, setting, or value of Delete	on a server.
Configuration Item Sample	Name	Setting Type	Description
IBM Configuration Item	IBM IMM Settings	IMM	IBM IMM Settings Description
	uEFI Romley Platform Settings	uEFI(Romley Platform)	uEFI Romley Platform Settings
	uEFI Settings Collection	UEFI	uEFI Settings Collection

図 15. 「設定コレクション・リスト (Setting Collection List)」ウィンドウ

手順

- 新規設定コレクションを作成するには、「設定コレクション」ツリー項目を右ク リックするか、または「新規設定コレクション」をクリックします。
- 設定コレクションを削除するには、リストにある 1 つ以上の項目を選択して、 「削除」をクリックするか、または Delete キーを押します。
- ・ 設定コレクションを選択して、そのプロパティーを表示または編集します。

B IBM Configuration Pack Editor				_ 🗆 🗵
Home Export Help Export Help Goldections Goldections Goldections Goldections Goldections Goldection Goldection Goldection Goldection	Setting Collections A Setting Collection represents I New Setting Collection	a desired object, setting, or valu	e on a server.	
Configuration Item Sample	IBM IMM Settings	Setting Type IMM	IBM IMM Settings Description	
	UEFI Romley Platform Settings UEFI Settings Collection	uEFI(Romley Platform) UEFI Platform Settings	uEFI Romley Platform Settings uEFI Settings Collection	
	Name: uEFI Ror Setting Type: uEFI(Ro Description: uEFI Ro	nley Platform Settings mley Platform) mley Platform Settings		4

図 16. 設定コレクションのプロパティー

設定コレクションの編集: このタスクについて

設定コレクションは、手順に従って編集します。

手順

設定コレクションを編集するには、以下の手順に従います。

1. 「**全般**」タブで「**変更**」をクリックします。「一般情報」ウィンドウが開きま す。

Name:		
BM IMM Settings		
Description:		
IBM IMM Settings Description		

図 17. 「General Information」 ウィンドウ

- 2. この設定コレクション の「Name」フィールドおよび「Description」フィールド を編集します。コレクションの「名前」および「詳細」は変更できますが、「設 定タイプ」は変更できません。
- 3. 「プロパティーしきい値」タブをクリックします。選択された設定コレクション の既存プロパティーしきい値がリストで表示されます。

<u>File Import Export H</u> elp					
Home Setting Collections Home Hom Home Hom Home Hom Home Hom	Setting Collection Lis A Setting Collection represents New Setting Collection	st a desired object, se Delete	tting, or value on a se	rver.	
Configuration items	Name	Setting Type	Description		
Configuration Item A	IBM IMM Settings	IMM	IBM IMM Settings	Description	
	uEFI Setting Collection for Web	Si UEFI	uEFI Setting Coll	ection	
	Details for IBM IMM Settin	ns			
	General Property Thresholds	Remove			
	Property Name	Comparator	Expected Value	Severity	Description
	IMM.BasicAdapterConfigPriv	Equals	Yes	Warning	Modify "Adapter Configuration
	IMM.HTTPPort	Less or Equals	80	Information	Configure the IMM port ass
	IMM.RemotePowerPriv	Contains	Yes	Error	Modify "Remote Server Pov
	імі.ні і і РРоп	Less	80	Error	Configure the linkin port ass

図 18. 「Property Thresholds」 タブ
- 4. 変更するタイプに応じて、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - ・ プロパティーしきい値に設定を追加するには、「追加」をクリックします。
 - 選択したプロパティーしきい値を編集するには、「変更」をクリックします。
 - 選択したプロパティーしきい値を削除するには、「除去」をクリックします。

注: 他の構成項目でも使用されている設定コレクションは削除されると、他の構 成項目からも除去されます。

設定コレクションの複製: このタスクについて

設定コレクションを複製するには、設定コレクションリスト・ビューまたは設定コ レクションツリー・ビューで任意の設定コレクションを右クリックします。

Home Setting Collections	Setting Collect	Setting Collections					
uEFI Romley Platform Settings	A setting collection re	presents a ues	ined object, setting, of	value on a server.			
uEFI Settings Collection	New Setting C	ollection	Delete				
Configuration Items	Name		Setting Type De	escription			
IBM Configuration Item	IBM IMM Settings		IMM IBN	M IMM Settings De:	scription		_
	uEFI Romley Pla	Duplicate	EFI(Romley uE	FI Romley Platform	n Settings		
	uEFI Settings Co	Delete	IEFI UE	FI Settings Collect	tion		
	General Property III						
	Add	Modify Comparator	Remove	Reverity	Remediation State	Remediation Value	Tr
	Add Property Name BootMindes Driver	Modify Comparator	Remove Expected Value	Severity	Remediation State	Remediation Value	C
	Add Property Name BootModes.Driver BootModes.QuietB	Modify Comparator Equals	Remove Expected Value All Disable	Severity	Remediation State No	Remediation Value	T T
	Add Property Name BootModes.Driver BootModes.Svste	Modify Comparator Equals Equals Equals	Remove Expected Value All Disable UEFI and Legacy	Severity Informati Informati Informati	Remediation State No No	Remediation Value	С
	Add Property Name BootModes.Driver BootModes.QuietB BootModes.Syste DevicesandIOPort.	Modify Comparator Equals Equals Equals Equals	Remove All Disable UEFI and Legacy Add-in Device	Severity Informati Informati y Informati Informati	Remediation State No No No	Remediation Value	
	Add Property Name BootModes Driver BootModes QuietB BootModes.QuietB DevicesandIOPort DevicesandIOPort	Modify Comparator Equals Equals Equals Equals Equals	Remove All Disable UEFI and Legacy Add-in Device Enable	Severity Informati Informati Informati Informati	Remediation State No No No No	Remediation Value	
	Add Property Name BootModes Oriver BootModes QuietB BootModes QuietB Devices and IOPort Devices and IOPort Devices and IOPort	Modify Comparator Equals Equals Equals Equals Equals Equals	Remove Expected Value All Disable UEFI and Legacy Add-in Device Enable Enable	Severity Informati Informati Informati Informati Informati	Remediation State No No No No No	Remediation Value	
	Add Property Name BootModes QuietB BootModes QuietB DevicesandIOPort DevicesandIOPort DevicesandIOPort DevicesandIOPort	Modify Comparator Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals	Remove Expected Value All Disable UEFI and Legacy Add-in Device Enable Pole*3.0	Severity Informati Informati Informati Informati Informati	Remediation State No No No No No No	Remediation Value	
	Add Property Name BootModes Driver BootModes QuietB BootModes Syste Devices and IOPort Devices and IOPort Devices and IOPort Devices and IOPort Devices and IOPort	Modify Comparator Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals	Remove Expected Value All Disable UEFI and Legacy Add-in Device Enable PCIE*3.0 Enable	Severity Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati	Remediation State No No No No No No No No	Remediation Value	
	Add Property Name BootModes Driver BootModes Syste Devicesand/OPort Devicesand/OPort Devicesand/OPort Devicesand/OPort Devicesand/OPort Devicesand/OPort	Modify Comparator Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals	Remove Expected Value All Disable UEFI and Legacy Add-in Device Enable PCIE*3.0 Enable Disable	Severity Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati	Remediation State No No No No No No No No No	Remediation Value	
	Add Property Name BootModes Driver BootModes.QuietB BootModes.QuietB DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort	Modify. Comparator Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals	Remove All Disable UEFI and Legacy Add-in Device Enable PCIE*3.0 Enable Disable 115200	Severity Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati	Remediation State No No No No No No No No No No	Remediation Value	
	Add Property Name BootModes Driver BootModes QuietB BootModes Syste DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort	Modify Comparator Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals	Remove All Disable UEFI and Legacy Add-in Device Enable Pole*3.0 Enable Disable Disable 115200 6	Severity Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati	Remediation State No No No No No No No No No No No No	Remediation Value	
	Add Property Name BootModes Driver BootModes Driver BootModes Syste DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort	Modify Comparator Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals	Remove Expected Value All Disable UEFI and Legacy Add-in Device Enable PCIE*3.0 Enable Disable 115200 6 Disable	Severity Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati	Remediation State No No No No No No No No No No No No No	Remediation Value	
	Add Property Name BootModes Driver BootModes Syste DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort DevicesandlOPort	Modify Comparator Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals Equals	Remove All Disable UEFI and Legacy Add-in Device Enable PCIE*3.0 Enable Disable Disable 115200 6 Disable None	Severity Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati Informati	Remediation State No No No No No No No No No No No No No	Remediation Value	

図19. 複製機能

「Duplication Dialog」が表示されます。

Duplicat	ion Dialog		
New Name:	IBM IMM Settings		
		0 <u>K</u>	<u>C</u> ancel

図 20. 「複製」ダイアログ・ウィンドウ

複製設定コレクションの名前を「新しい名前」フィールドに入力します。

注:複製の設定コレクションの名前は、既存の設定コレクションと同じ名前でもか まいません。しかし、複製の設定コレクションには異なる名前を使用することをお 勧めします。また、他の構成項目で使用されている設定コレクションを複製して も、新たに作成された複製設定コレクションは、その構成項目から参照されません。

「構成項目」リスト・ペイン

「構成項目」ペインでは、以下のオプションを使用するなどして、構成項目を作成 したり表示したりできます。

- ・ 構成項目の作成
- ・ 構成項目の表示

構成項目の作成

手順

1. 「**構成項目の作成**」をクリックします。構成項目の作成手順を案内するウィザ ードが開きます。

Dana courtBaration raow partor provide courtBaration rice	
General Information Enter a name and (optional) description for your new configuration item and click "Next" to continue.	IBM Step 1/3
Name:	
IBM Configuration Item	
Description:	
IBM Configuration Item Include Setting Collections: IBM IMM Settings uEFI Setting Collection for Web Site	2
	<u>×</u>
< Back Next > Finish	Cancel

図 21. 「General Information」 ウィンドウ

2. 構成項目の名前と説明を入力します。

注: 「名前」フィールドは必須ですが、「詳細」フィールドはオプションです。

3. 「次へ (Next)」をクリックします。「IMM 情報 (IMM Information)」ウィンド ウが開きます。

Iter the user ID and password, and specify the location of the asu.exe file on the endpoint. Step 2 IMM Information UserID UserID Password ******** ** Confirm Password ** ******* ** Specify the location of the asu.exe file on the endpoint C:\VBM\ASU\Win32\asu.exe Specify the location of the asu.exe file on the endpoint C:\VBM\ASU\Win32\asu.exe	IM Information		IBM
IMM Information UserID Password ******* Confirm Password ******* Specify the location of the asu.exe file on the endpoint C:\IBM\ASU\Win32\asu.exe	ter the user ID and password, and specify the location of the asu.exe file on the endpoint. ck "Next" to continue.		Step 2/
IMM Information UserID Password ******* Confirm Password ******* Specify the location of the asu.exe file on the endpoint C:\UBM\ASU\Win32\asu.exe			
UserID UserID Password ******* Confirm Password ******* Specify the location of the asu.exe file on the endpoint C:\IBM\ASU\Win32\asu.exe	- IMM Information		
UserID Password Confirm Password Specify the location of the asu.exe file on the endpoint C:\IBM\ASU\Win32\asu.exe	UserID		
Password ******** Confirm Password ******* Specify the location of the asu.exe file on the endpoint C:\IBM\ASU\Win32\asu.exe < Back	UserID		
******* Image: Confirm Password Specify the location of the asu.exe file on the endpoint Image: C:\IBM\ASU\Win32\asu.exe C:\IBM\ASU\Win32\asu.exe Image: Confirm Password < Back	Password		
Confirm Password	******		
Specify the location of the asu.exe file on the endpoint C:\\BM\ASU\Win32\asu.exe <	Confirm Password		
Specify the location of the asu.exe file on the endpoint C:\\BM\ASU\\Win32\\asu.exe <	*****		
Specify the location of the asu.exe file on the endpoint C:\IBM\ASU\Win32\asu.exe <			
C:\IBM\ASU\Win32\asu.exe < Back Next > Finish Cancel	Specify the location of the asule	exe file on the endpoint	
< Back Next > Finish Cancel	C:\/BM\ASU\Win32\asu.exe		
< Back Next > Finish Cancel			
< Back Next > Finish Cancel			
< Back Next > Finish Cancel			
		< <u>Back</u> <u>N</u> ext > <u>F</u> inish	Cancel

図 22. 「IMM Information」ウィンドウ

4. ターゲット・サーバー上の IMM のユーザー ID とパスワードを入力します。

注: ターゲット IMM 上でデフォルト・アカウントが使用されている場合、ユ ーザー ID とパスワードは必須ではありません。 IBM Configuration Pack Editor は、ユーザー ID とパスワードが正しいかどうかを検査しません。

 「エンドポイントでの asu.exe ファイルのロケーションを指定します」という ラベルが付いたフィールドに、ターゲット・サーバー上の ASU.exe ファイルへ の絶対パスを入力します。 ASU.exe ファイルを起動して設定を検出するため に、このパスがコレクションの設定で使用されます。正しいパスが入力されな い場合は、設定により、次の図に示された通知に従って ASU.exe ファイルの検 出が試みられます。

IMM Infor	
UserID	endpoint. Ensure that at least one of these conditions is met for validation,
UserID	or the Configuration Item will return as "Not Detected".
Passwor	1. The asu.exe path is defined in the Location field.
******	2. Asu.exe is located at %SystemPartition%\IBM_Support\ASU\asu64.exe
Confirm F	(for 64-bit OS) or %SystemPartition%\IBM_SupportASU\asu.exe (for 32-bit OS).
******	3. The location is defined in the registry key as follows: HKEY LOCAL MACHINENSoftware/IRMASUN ocation (for 32-bit OS) or
	HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Wow6432Node\IBM\ASU\Location (for
Specify the	

図 23. Asu.exe 検出通知ウィンドウ

6. 「次へ (Next)」をクリックします。「構成項目」ウィンドウが開きます。

onfiguration Ite	ems IBM
d the setting collectior	ns that you wish to include in this configuration item. Step 3/
Add	IOVE
Name	Setting Type Description
د]	107
()	Einish Cancel

7. 「追加」ボタンを使用して、既存の設定コレクションを構成項目に追加しま す。「設定コレクションの追加」ウィンドウが開きます。

IBM Configuration Pack Editor - Add Setting Collections					
Add Setting Collections					
Select Setting Collections that you wis	sh to add to this Configuration	i Item.			
Name	Setting Type	Description			
IBM IMM Settings	IMM	IBM IMM Settings Description			
uEFI Romley Platform Sett	uEFI(Romley Platform)	uEFI Romley Platform Settings			
uEFI Settings Collection	UEFI	uEFI Settings Collection			
4					
7 SelectAll	ок	Cancel Apply			

図 25. 「設定コレクション」選択ウィンドウ

8. 構成項目に追加する設定コレクションに対応するチェック・ボックスを選択 し、「**OK**」をクリックします。

注:1 つの設定コレクションを複数の構成項目で使用できます。

IBM Configuration Pack Editor -	Create Configuration Item		×	
Setting Collections		IB	M.	
dd Setting Collections that you wish to include in this Configuration Item.				
		ettep		
Add Remove				
Name	Setting Type	Description		
IMM	IMM	IBM IMM Settings Description		
uEFI(Romley Platform)	uEFI(Romley Platform)	uEFI Romley Platform Settings		
•			•	
	< Back Ne	ext > Finish Cancel		

図 26. 「設定コレクションの追加」ウィンドウとリスト項目

9. 設定コレクションを構成項目から除去するには、リストで1つ以上の設定コレクションを選択し、「除去」をクリックします。

注:「除去」をクリックすると、選択された設定コレクションは現行構成項目 から削除されますが、設定コレクションはこのリストからは削除されません。

10. 「完了」をクリックします。

構成項目の表示

手順

1. 「構成項目の表示」をクリックします。「構成項目」ウィンドウが開きます。

IBM Configuration Pack Editor		- O ×
File Import Export Help		
File Import Export Help	Configuration Items A Configuration Item is a grouping of New Configuration Item Name Configuration Item Sample IBM Configuration Item	Setting Collections. Click "New Configuration Item" to create a new Delete Description Configuration Item Sample IBM Configuration Item

図 27. 「構成項目」ウィンドウ

2. 新規構成項目を作成するには、「設定コレクション」ツリー項目を右クリックす るか、または「新規構成項目」をクリックします。

構成項目を選択してプロパティーを表示または編集します。

B IBM Configuration Pack Editor		_ 🗆 🗙
File Import Export Help		
File Import Export Help	Configuration Items A Configuration Item is a grouping of Setting Collections. Click "New Configuration Item" to create a new New Configuration Item Delete Name Description Configuration Item Sample Configuration Item Sample IBM Configuration Item IBM Configuration Item Details for: Configuration Item Sample General IMM Account Modify Name: Name: Configuration Item Sample	
	Description: Configuration Item Sample	1.

図28. 構成項目のプロパティー

構成項目の編集

Ŧ	山石
-	//띥

1. 「**全般**」タブで「**変更**」をクリックします。「一般情報」ウィンドウが開きま す。

📕 IBM Configuration Pack Editor - Gene	eral Information	×
Name:		
Configuration Item Sample		
Description:		
Configuration Item Sample		-
		-
	OK Cancel Apply	
	OK Cancel Apply	Y

図 29. Configuration Pack Editor - 「一般情報」 ウィンドウ

- 2. 対象となる構成項目の「**名前**」フィールドおよび「詳細」フィールドを編集しま す。
- 3. 「IMM Account」タブをクリックします。 ウィンドウが表示され、「構成項 目」ペインが示されます。

5 IBM Configuration Pack Editor	
File Import Export Help	
File Import Export Help Home Setting Collections UEFI Romley Platform Settings UEFI Settings Collection Configuration Items IBM Configuration Item Sample IBM Configuration Item	Configuration Items A Configuration Item is a grouping of Setting Collections. Click "New Configuration Item" to create a new Configuration Item. New Configuration Item Delete Name Configuration Item Sample Configuration Item Description Configuration Item Configuration Item Sample IBM Configuration Item IBM Configuration Item Details for: Configuration Item Sample General IMM Account Setting Collections Immediate UserID UserID UserID Password Immediate Confirm Password Immediate Sectific the location of the acu use file on the antipoint
	Confirm Password

図 30. 「IMM Account」 タブ

4. 「変更」をクリックして、ターゲット・サーバー上の IMM のユーザー ID とパ スワードを入力します。

注: IBM Configuration Pack Editor は、ユーザー ID とパスワードが正しいかどうかを検査しません。エラーをなくすために、デフォルト・アカウントを使用することをお勧めします。

5. 「エンドポイントでの asu.exe ファイルのロケーションを指定します」というラ ベルが付いたフィールドに、ターゲット・サーバー上の ASU.exe ファイルへの 絶対パスを入力します。 ASU.exe ファイルを起動して設定を検出するために、 このパスがコレクションの設定で使用されます。正しいパスが入力されなかった 場合は、下の図に示されたウィンドウで指定されているように、設定により ASU.exe ファイルの検出が試みられます。



図 31. Asu.exe 検出通知ウィンドウ

6. 「設定コレクション」タブをクリックします。

5 IBM Configuration Pack Editor	
File Import Export Help	
Home Setting Collections BM IMM Settings UEFI Romley Platform Settings UEFI Settings Collection Configuration Items MC Configuration Item IBM Configuration Item	Configuration Items AConfiguration Item is a grouping of Setting Collections. Click "New Configuration Item" to create a new Configuration Item. New Configuration Item Delete Name Description Configuration Item Sample Configuration Item Sample IEM Configuration Item IBM Configuration Item
	Details for: IBM Configuration Item General IMM Account Add Remove Name Setting Type IMM IMM IMM IMM UEFI(Romley Platform) uEFI(Romley Internet)

図 32. 「設定コレクション」タブ

7. 「**追加**」ボタンをクリックして、既存の設定コレクションを構成項目に追加しま す。「設定コレクションの追加」ウィンドウが開きます。

JBM Configuration Pack Editor - Add Setting Collections						
Add Setting Collections						
Select Setting Collections that you	u wish to add to this Configuration	Item.				
Name	Setting Type	Description				
IBM IMM Settings	IMM	IBM IMM Settings Description				
uEFI Romley Platform Sett	uEFI(Romley Platform)	uEFI Romley Platform Settings				
uEFI Settings Collection	UEFI	uEFI Settings Collection				
4			•			
✓ SelectAll	ок	Cancel Apply				

図 33. 「設定コレクションの追加」選択ウィンドウ

8. 構成項目に追加する設定コレクションに対応するチェック・ボックスを選択し、「**OK**」をクリックします。

注:1 つの設定コレクションを複数の構成項目で使用できます。

9. 設定コレクションを構成項目から除去するには、リスト・ビューで 1 つ以上の 設定コレクションを選択し、「除去」をクリックします。

注:「除去」をクリックすると、選択された設定コレクションは現行構成項目から削除されますが、設定コレクションは他の構成項目からは削除されません。

構成項目の複製 このタスクについて

構成項目を複製するには、構成項目リスト・ビューまたは構成項目ツリー・ビュー で任意の構成項目を右クリックします。

図 34. 構成項目の複製機能

「複製」ダイアログ・ウィンドウが開きます。

IBN Conf	iguration Pack Editor - Dup	lication	Dialog [
New Name:	IBM Configuration Item		
		0 <u>K</u>	<u>C</u> ancel

図 35. 「複製」ダイアログ・ウィンドウ

複製構成項目の名前は既存の構成項目と同じにすることができますが、別の名前を 使用することをお勧めします。

注:構成項目が複製された後、新しい複製構成項目はソース構成項目の同じ設定コレクションを参照します。

構成項目の削除

このタスクについて

構成項目を削除するには、リスト・ビューで構成項目を選択し、「**削除**」をクリッ クするか、または選択した構成項目を右クリックして「**削除**」を選びます。

注: 削除対象の構成項目の子設定コレクションは削除されません。

構成の説明ファイルに構成データをエクスポート このタスクについて

管理者が構成データを作成して共有できるようにするには、構成項目とその子設定 コレクションを構成の説明.xmlファイルにエクスポートします。

手順

1. Configuration Pack Editor で「**エクスポート**」 > 「構成ファイル」をクリックします。

🖡 IBM Configuration Pack Editor				_ 🗆 ×
File Import Export Help				
Home Settin Export to Configuration Pail Export to Configuration Pa Export to SCCM Console UE Configuration Items Configuration Item Sample IBM Configuration Item	ck For SCCM 2007 ck For SCCM 2012 Name Configuration Item IBM Configuration I	tems a grouping of Setting Collectio ution Item Delete Sample Item	ns. Click "New Configuration Item" to create a n	ew Configuration Item.
	Details for: General IMM Acco Modify Name: Description:	Configuration Item Sampl ount Setting Collections Configuration Item Sample Configuration Item Sample	e	×

図 36. 構成ファイルへのエクスポート

「構成の説明 (.xml) にエクスポート」ウィンドウが開きます。

	퉒 IBM Configuration Pack Editor - Export to Configuration Description (.xml)				
	Select the Configuration Item or items that you wish to export to an XML file. You can then import the XML file into the IBM Configuration Pack Editor.				
	Name	Description			
	Configuration Item Sample	Configuration Item Sample			
	IBM Configuration Item	IBM Configuration Item			
1	Select All	C0	Car	ncel	

図 37. 「構成の説明 (.xml) にエクスポート」ウィンドウ

- 2. エクスポートする構成項目に対応するチェック・ボックスを選択します。選択さ れた構成項目の子設定コレクションも自動的にエクスポートされます。
- 3. 「Continue」をクリックします。ファイル・ナビゲーション・ウィンドウが開き ます。

Second to configuration	ation description		×
💽 🗖 Deskt	op 🔻	▼ 🔄 Search Desktop	0
Organize 🔻 New fo	older	55 - 0)
Favorites Favorites Desktop Downloads Recent Places Libraries Documents Music Pictures Videos Computer	Libraries System Folder Computer System Folder Captured XML Document 206 KB	Administrator System Folder Network System Folder	
🛍 Network	<u>*</u>		
File name:	configuration	1	•
Save as type:	Configuration Description (*.xml)	1	•
Hide Folders		Save Cancel	

図 38. 「構成の説明ファイルにエクスポート (Export to configuration description file)」 ウィンドウ

- 4. 構成の説明 .xml ファイルの名前を入力して、「OK」をクリックします。
- 5. ウィンドウが開き、エクスポートが正常に完了したことが示されます。「**OK**」 をクリックします。

🚡 IBM Configuration Pack Editor - Ехрс	ы IBM Configuration Pack Editor - Export to Configuration Description (.xml)				
Select the Configuration Item or items into the IBM Configuration Pack Editor.	that you wish to export to an XML file. You can then import the XML file				
Name	Description				
Configuration Item Sample	Configuration Item Sample				
IBM Configuration Item	IBM Configuration Item				
IBM Con Export	nfiguration Pack Editor - Information 🔀 succeeded. OK				
SelectAll	Continue Cancel				

図 39. 「エクスポートが正常に完了しました」ウィンドウ

構成の説明 .xml ファイルのインポート _{手順}

1. Configuration Pack Editor で「**インポート**」 > 「構成ファイル」をクリックしま す。

5 IBM Configuration Pack Editor	
File Import Export Help	
Configuration File	New Configuration Items New Configuration Item Delete Name Description Configuration Item Sample Configuration Item Sample
	Details for: IBM Configuration Item General IMM Account Add Remove Name Setting Type Description IMM IMM UEFI(Romley Platform) uEFI(Romley uEFI Romley Platform Settings

図40. 「構成ファイルのインポート」メニュー

「構成 XML ファイルのインポート」ウィンドウが開きます。

IBM Configuration Pack E	ditor - Import a Conf	ìgura	ition)	(ML file	2		I S	×
Desktop 🔹				•	Search			2
Organize ▼ III Views	▼ 🚺 New Folder							0
Favorite Links Desktop Computer Documents Pictures Music Recently Changed Searches Public	Name Administrator	•	Size	15 KB	Type XML Document	Contempodif	2:05 PM	Atb
Folders	•							F
File name:						guration XML (*>	ml) <u></u> Cancel	

図 41. 「構成 XML ファイルのインポート」ウィンドウ

2. インポートする構成の説明 .xml ファイルを選択して、「OK」をクリックしま す。

5 IBM	Configuration Pack Edite	or - Confirm Replace	×
i	There is already a Sett this editor.	ing Collection with the	e same ID in
	Would you like to repla	ce the existing Setting	g Collection
	"IMM"		
	modified: 6/10/20	011 9:38:50 AM	
	with this one?		
	"IMM"		
	modified: 6/10/20	011 9:38:50 AM	
-	Yes All	No	Cancel
2.00			

図 42. 設定コレクション の「Confirm Replace」 ウィンドウ

IBM Configuration Pack Editor では、すべての設定コレクションおよび構成項目 に固有 ID があります。名前が異なっていても同じ ID が使用されていると、 Editor はウィンドウを表示して、既存の構成データを置換することを確認するよ うに要求します。 注: 既存の設定コレクションと同じ ID を持つ、構成項目内の設定コレクション をインポートすると、インポートされた設定コレクションによって既存の設定コ レクションが置き換えられます。構成項目は、インポートされた設定コレクショ ンを参照するようになります。ただし、その内容が以前の設定コレクションの内 容と同じであるかどうかは考慮されません。

ライセンス検証状況の検査

手順

1. Configuration Pack Editor $\overline{(\mathcal{N}\mathcal{N}\mathcal{T})} > \overline{(\mathcal{P}\mathcal{T}\mathcal{T}\mathcal{T})}$



図 43. 「ライセンス」メニュー・オプション

2. 「ライセンス資格」ウィンドウが開きます。情報を確認し、確認を終えたら 「OK」をクリックしてウィンドウを終了します。



図 44. 「License Entitlement」ウィンドウ

「SCCM 用の IBM Configuration Pack にエクスポート (Exporting to IBM Configuration Pack for SCCM)」機能

構成項目を IBM Configuration Pack .cab ファイルにエクスポートしてあれば、その .cab ファイルを SCCM サーバーにインポートできます。また、その構成項目は、 SCCM サーバーにインポートしたり、IMM/UEFI 設定を確認するために SCCM ク ライアントにデプロイしたりできます。

「IBM Configuration Pack にエクスポート (Export to IBM Configuration Pack)」ボ ックスは、「構成項目を IBM Configuration Pack Cab ファイルにエクスポート (Export configuration item to IBM Configuration Pack Cab File)」リンクで構成され ています。

「構成項目を IBM Configuration Pack Cab ファイルにエクスポート (Export configuration item to IBM Configuration Pack Cab File)」機能を使用すれば、複数の構成項目とその子設定コレクションを.cab ファイルにエクスポートできます。 .cab ファイルには IBM Configuration Pack という名前が付いていて、このファイルは SCCM サーバーにインポートすることができます。

構成項目を IBM Configuration Pack .cab ファイルにエクスポ ート

手順

 「IBM Configuration Pack Editor」ウィンドウで「構成項目を SCCM 2007/2012 用の構成にエクスポート (Export Configuration item to Configuration for SCCM 2007/2012)」をクリックします。「IBM Configuration Pack (.cab) にエク スポート (Export to IBM Configuration Pack (.cab))」ウィンドウが開きます。

Export to Configuration Pack For S	CCM 2007		×
Select the Configuration Item or item into the SCCM Console as a DCM Co Notice:The Configuration Pack can b auto-remediation information.	s that you wish onfiguration Pac e imported by S	to export to a CAB file. You can then import the CAB file :k. CCM2007 and SCCM2012, but it won't have any	
Name	Version	Description	Г
Configuration Item Sample	2	Configuration Item Sample	
IBM Configuration Item	1	IBM Configuration Item	
I SelectAll		Continue Cancel	

図 45. 「SCCM 2007 用の IBM Configuration Pack にエクスポート (Export to IBM Configuration Pack for SCCM 2007)」ウィンドウ

2. エクスポートする構成項目に対応するチェック・ボックスを選択します。

注:構成項目のバージョンは、直接は変更できない内部変数です。 SCCM DCM は、このバージョン変数を使用して、構成項目のアップグレードが必要かどうか を評価します。

Configuration Manager で構成データを更新すると、旧バージョンは上書きされ、 クライアントは常に最新バージョンを使用して評価するようになります。

構成項目のバージョンを管理する方法について詳しくは、Web ページ http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb632925.aspx を参照してください。

3. 「**Continue**」をクリックします。 「SCCM 2012 用の構成パックにエクスポート」ウィンドウが開きます。

Comput	er 🔹 Local Disk (C:) 👻 IBM_Suppo	ort 🔹 DCM 👻 🥣 Search	h DCM	2
rganize 👻 New folder]II	- 0
Favorites	Name *	Date modified	Туре	Size
🧱 Desktop				
🎉 Downloads				
🔛 Recent Places				
🔚 Libraries				
Documents				
🎝 Music				
Pictures				
H H I				
Videos	100			
Videos	-		1	9
Uideos				J
 Videos Computer File name: IBP 	▼			1
 Videos Computer File name: IBP Save as type: Cor 	I configuration pack sample figuration Pack for SCCM2012(*.ca	ab)		•
 Videos Computer File name: IBⁿ Save as type: Cor 	I configuration pack sample figuration Pack for SCCM2012(*.ca	ab)		1

図 46. 「Export to IBM Configuration Pack」 ウィンドウ

4. 「**保存**」をクリックします。 ウィンドウが開き、エクスポートが正常に完了し たことを示すメッセージが表示されます。

👗 IBM Configuration Pack Editor	- Export to Configur	ation Pack (.cab)	×
Select the Configuration Item or the SCCM Console as a DCM C	items that you wish t onfiguration Pack.	o export to a CAB file. You can then import t	he CAB file into
Name	Version	Description	
Configuration Item Sample	1	Configuration Item Sample	
IBM Configuration Item	1	IBM Configuration Item	
	BM Configuration Par	ck Editor - Information	
SelectAll		Continue	Cancel

図 47. 「エクスポートが正常に完了しました」ウィンドウ

構成項目を SCCM コンソールにエクスポート _{手順}

1. IBM Configuration Pack Editor で「SCCM コンソールにエクスポート」をクリ ックします。「構成項目の選択」ウィンドウが開きます。

BM Configuration Pack Editor - E	xport Configuration I	tem to SCCM Console	
elect the Configuration	n Item		IBM
ect the Configuration Item or Iten	ns that you wish to exp	ort to SCCM Console.	Step 1/3
Name	Version	Description) amonto
Configuration Item Sample	2	Configuration items	sample
		iom conliguration it	5111
	< Back	Next > Expo	rt Cancel

図48. 「構成項目の選択」ウィンドウ

- 2. エクスポートする構成項目に対応するチェック・ボックスを選択します。
- 3. 「次へ (Next)」をクリックします。「SCCM コンソール位置情報」ウィンドウ が開きます。

튏 IBM Configuration Pack Editor - Export Configuration Item to SCCM Console	×
SCCM Console postion information Please input the machine information that the SCCM Console installed	IBM Step 2/3
The SCCM Console is on the local machine	
C The SCCM Console is on a remote machine	
Machine Name:	
User Name:	
Password:	
	- Annal - I
< Back Next > Export	Cancel

図 49. 「SCCM コンソール位置情報」ウィンドウ

- 4. SCCM コンソールがリモート・マシン上にある場合は、マシン名、ユーザー名、 およびパスワードを入力します。
- 5. 「次へ (Next)」をクリックします。「構成項目情報」ウィンドウが開きます。

📕 IBM Configuration Pack Editor - Export Configuration Item to SCCM Console	×
Configuration Items Information	IBM
Please input the prefix for the Configuration Items and select Configuration Item type.Then click "Export".It may take a while.	Step 3/3
Add a prefix name for the Configuration Items.	
New	
Please choose the right type for the Configuration Item	
C For SCCM2007	
For SCCM2012	
< Back Next > Export	Cancel

図 50. 「構成項目情報」ウィンドウ

- 6. 構成項目の接頭部名を追加できます。
- 7. 構成項目の対応する SCCM コンソール・タイプを選択します。
- 8. 「**エクスポート**」をクリックします。ウィンドウが開き、エクスポートが正常に 完了したことが示されます。

IBM Configuration Pack Edit	or - Export Configuration Item to SCCM Console	×
Configuration Items	Information	IBM.
Please input the prefix for the C type. Then click "Export". It may to	onfiguration Items and select Configuration Item ake a while.	Step 3/3
🖂 Add a profix name fr	ur the Configuration Home	
I → Add a preitx name id	r ne conliguration items.	
IB	New M Configuration Pack Editor - Information	
Please choose the r E	xport succeeded.	
	OK	
	For SCCM2012	
	< Back Next > Export	Cancel

図 51. 「エクスポートが正常に完了しました」ウィンドウ

IBM Configuration Pack を SCCM 2007 コンソールに適用

このタスクについて

このセクションでは、IBM 構成データを SCCM サーバーにインポートする方法に ついて説明します。

DCM への構成データのインポート ^{手順}

SCCM コンソールを開き、「Desired Configuration Management」を展開します。
 「構成ベースライン」または構成項目を右クリックし、「構成データのインポート」を選択します。



図 52. 構成のインポート・ウィンドウの機能

2. 「追加」をクリックして、エクスポートされた IBM Configuration Pack .cab フ ァイルを選択します。

Import Configuration Da	ata Wizard				×
Choose Files	i .				
Choose Files Summary Progress Confirmation	Import configuration from other configuration	on items and configuration b iration data sources.	aselines	from best practices Configuration Pac	ks, and
	Name	Date Modified	Size	,entes:	
		There are no items to s	thow in t	this view.	Add Delete
		< Previous		Next > Finish	Cancel

図 53. エクスポートされた IBM Configuration Pack .cab ファイルの追加

3. 「IBM Configuration Pack」を選択し、「オープン (Open)」をクリックして、インポートを行います。

🕴 Organize 👻 📗 Views	🔹 💌 🎑 New Folder				0
Favorite Links	Name 🔺	▼ Date modified ▼	Туре	▼ Size	- Ta
	asu	4/27/2011 2:43 PM	File Folder		
Desktop	configuration	5/5/2011 4:00 PM	Cabinet File		3 KB
Computer	til sys	4/28/2011 4:55 PM	Cabinet File		3 KB
Documents					
Pictures					
Music					
Recently Changed					
Searches					
Public					
Folders	•		1		

図 54. エクスポートされた .cab ファイルの選択

4. 「Authenticode 署名の確認をスキップしますか? (Skip Authenticode signature check?)」ウィンドウが開きます。「はい」をクリックして、署名の確認をスキップします。

Import Config	uration Data Wizard	×
	Choose Files	
Choose Files Summary Progress	Import configuration items and configuration baselines from best practices Configuration Packs, and from other configuration data sources.	
Confirmation	Skip Authenticode signature check?	
	C: \Users \Administrator \AppData \Local \Microsoft \SCCM\DCM\Impo rt\4d9 11e0a-d126-4ac5-a389-d9f3c4abbb23-CabCache \configura tion.cab Authenticode signature checking is not supported when running the console as a 64-bit process. Do you want to skip this check and import the contents of this file?	
	<pre></pre>	1

図 55. 「Authenticode 署名の確認をスキップしますか? (Skip Authenticode Signature Check?)」ウィンドウ

5. 「次へ」をクリックして、IBM Configuration Pack .cab ファイルをインポート します。

Import Configuration Dat Choose Files	ta Wizard				
Choose Files Summary Progress Confirmation	Import configuration items ar from other configuration data Files containing configuration	nd configuration b a sources. • items or configur	aselines fr ation base	om best practices Con	nfiguration Packs, and
	Name	Date Modified	Size		
	C: \Users \Administrator \	5/5/2011 4:	3 KB		<u>A</u> dd Delete
		< Previous		ext > Eni	sh Cancel

図 56. 選択した .cab ファイルのインポート

6. 構成項目が IBM Configuration Pack ツリーに表示されます。 「次へ (Next)」を クリックします。

Summary					
hoose Files	The wizard will import t	he following configuration	data.		
ummary rogress					
onfirmation	Configuration Bas	selines (0) ms (2) I Item A ation Item			
	To change these settin	ıgs, dick Previous. To app	ly the settings, dic	k Next.	

図 57. インポートされた構成項目

7. 構成データが正常にインポートされたことがメッセージで示されます。「クロー ズ」をクリックして、ウィザードを終了します。

Import Configuration Da	ta Wizard	×
Completing th	ne Import Configuration Data Wizard	
Choose Files Summary Progress	You have successfully completed the Import Configuration Data Wizard with the following details.	
Confirmation	Configuration Baselines (0) Configuration Items (2) Configuration Item A [Success] IBM Configuration Item [Success]	
	To close this wizard, click Close.	
	< Previous Next > Finish Close	

図 58. 正常終了のウィンドウ

8. 「**構成項目**」ノードを右クリックして「**最新表示**」を選択します。インポートさ れた構成項目がウィンドウに表示されます。

E Configuration Manager Console						
Eile Action View Window Help					_8×	
(+ + 1) 2 m						
System Center Configuration Manager	Configuration Items 2 items found				Actions	
E Site Database (XYZ - IBM-8RS37JSWCAT, :		and the second		1 1	Configuration Items	
Site Database (ViZ - 18M-8RS37JSWCAT, : B Software Database Conflicting Records Software Database Software Data	Look for:	In All Columns	CI Version	Vow Qear	Configuration Items Import Configuration Data New > Give Feedback View > New Window from Here Refresh Help	
×	4			Þ		

図 59. インポートされた構成項目を持つ SCCM

注: インポートされた構成項目の状況は「ロック (Lock)」となっている場合があります。このロック状況は、以下の理由によるものです。

- 構成データが読み取り専用である。
- ・ 構成データが SCCM コンソール管理者によって作成されたものではない。

構成項目のプロパティーの表示 このタスクについて

このセクションでは、SCCM サーバーにインポートされた IBM 構成データを表示 する方法について説明します。

手順

1. 構成項目のプロパティーを表示するには、対象の構成項目をダブルクリックしま す。「設定」タブのページに IBM 設定コレクションがリストされます。

設定の1 つを任意に選択すると、検証する設定を表示できます。設定をダブル クリックして表示するか、または設定を1 つ選択して「編集」をクリックしま す。

Filter				P
Name	Setting Type	Inherited	User Setting	
IMM.CIMOverHTTPPort	Script	No	No	
IMM.DNSPreference	Script	No	No	
IMM.LoginId.6	Script	No	No	
IMM.RemoteConsoleDiskPriv	Script	No	No	
Processors.HardwarePrefetcher	Script	No	No	

図 60. 「設定」タブ

2. 「検出方法 (Detection Method)」タブでは、IBM Configuration Pack Editor が構成項目ごとに検出方法を定義しています。この検出方法では、エンドポイントにASU.exe ファイルが存在するかどうかが検査されます。このファイルが存在しない場合は、構成項目から「検出されませんでした (Not Detected)」状態が返され、子設定グループの検証が停止されます。

1 Configuration Item Properties	
neral Settings Compliance Rules Detection Methods Supported Platforms Relation	nships Security
pecify how this application is detected on client devices.	
Always assume application is installed	
Use Windows Installer detection	
Product code:	Open
Version:	
This application is installed for one or more users	
Use a custom script to detect this application	
VBScript	Open
set fso=CreateObject("Scripting.FileSystemObject")	Clear
Sub CheckASUI ocation()	
Dim asuName	
Const NotFound=""	
Wscript.Echo FoundASU	
const KEY_QUERY_VALUE = &H0001	
Loopst HKEY LOCAL MACHINE = \$480000002	
strComputer = "."	
strComputer = "." Set oReg=GetDbject("winnights: {impersonationLevel=impersonate}!\\" & strComputer & "\root\default:StdRegProv")	
strComputer = "." Set oReg=GetObject("winmgmts: (impersonationLevel=impersonate)!\\" & strComputer & "\root\default:StdRegProv")	
strComputer = "." Set oReg=GetDbject("winmgmts:{impersonationLevel=impersonate}!\\" & strComputer & "\root\default:StdRegProv")	[

図 61. 「検出方法」タブ

基準の作成

このタスクについて

エンドポイントで検証するすべての構成項目が含まれているベースラインを作成す る必要があります。

注: ベースラインのないエンドポイントに構成項目を割り当てることはできません。

手順

1. SCCM コンソールで「Desired Configuration Management」ノードを展開します。

2. 構成ベースラインを右クリックし、「新しいConfiguration Baseline」を選択しま す。



図 62. 「新しいConfiguration Baseline」機能

「Configuration Baselineの作成 (Create Configuration Baseline)」ウィザードが開きます。

Create Configuration Baseline	Wizard
Identification	
Identification	Specify a unique name and a description for this configuration baseline.
Set Configuration Baseline Rule	
Summary	Name:
Progress	IBM Baseline - 1
Confirmation	Description:
	To improve searching and filtering, click Categories and assign one or more categories.
	Categories
<u>.</u>	< Previous Next > Finish Cancel

図 63. 「構成基準の作成」ウィザード

- 3. 名前を入力し、オプションとしてベースラインの説明を入力します。 「次へ (Next)」をクリックします。
- 4. 「**アプリケーションと**一般 (applications and general)」リンクをクリックし、検 証する構成項目を選択します。

Create Configuration Baseline	Wizard X				
Set Configuration B	aseline Rules				
Identification Set Configuration Baseline Rule Summary Progress	Specify rules containing configuration items and configuration baselines to define how compliance will be assessed on client computers.				
Confirmation	One of the following operating system configuration items must be present and properly configured These applications and general configuration items are required and must be properly configured: If these optional application configuration items are detected, they must be properly configured: These software updates must be present: These application configuration items must not be present: These configuration baselines must also be validated:				
<	Delete < Previous				

図 64. 「アプリケーションと一般」リンク

「**構成項目**の選択 (Choose configuration items)」ウィンドウが開きます。

ok for:	_			Clear	
Name	Description	Туре	Config	Catego	
 Configuration Item A IBM Configuration Item 	IBM Configur	Applica Applica	1		

図 65. 「構成項目の選択」ウィンドウ

5. エンドポイントで検証する構成項目に対応するチェック・ボックスを選択し、 「OK」をクリックします。

選択された構成項目が「**アプリケーションと一般 (applications and general)**」リンクの下に表示されます。
Create Configuration Baseli	ne Wizard	1
Set Configuration	n Baseline Rules	
Identification Set Configuration Baseline Ru Summary Progress	Specify rules containing configuration items and configuration baselines to define how compliance will be assessed on client computers.	
Confirmation	One of the following operating system configuration items must be present and properly configured These applications and general configuration items are required and must be properly configured Configuration Item A DIBM Configuration Item If these optional <u>application</u> configuration items are detected, they must be properly configured: These <u>software updates</u> must be present: These <u>application</u> configuration items must not be present: These <u>configuration baselines</u> must also be validated: Pelete	
H H	< Previous Next > Finish Cancel	

図 66. 構成項目が示された「アプリケーションと一般 (applications and general)」リンク

6. 「完了」をクリックしてウィザードを終了します。

ベースラインをコレクションに割り当てる このタスクについて

あるコレクションのクライアントの設定を確認する場合は、ベースラインをコレク ションに割り当てることができます。

手順

1. SCCM コンソールで、新しいベースラインを右クリックし、「**コレクションに割 り当てる** (Assign to a Collection)」を選択します。

THE ACCOLL VIEW WITHOW THEP		- 6
🔿 🖄 📰 🖬		
System Center Configuration Manager	Configuration Baselines 1 items found	Actions
ystem Letter Comguration Manager Site Database (V/2 - Bil-AS37JSWCAT, 1 Computer Management Conflicting Records Conflicting Records Conflicting Records Conflicting Records Conflicting Records Configuration Destination Desired Configuration Management Configuration Baselines Configuration Basel	Configuration Baselines Items found Look for: In All Columns Frid Now Name CI Version Content Version Categories IBM Baseline - 1 Assign to a Collection Export Configuration Data Duplicate Disable Baseline Manage Categories Add Amage Categories Add Move Items Cut Delete Refresh Properties Help Name: IBM Baseline - 1 Immediate Description: Immediate Immediate	Actions Configuration Baselines Configuration Baselines Import Configuration Baseline Import Configuration Baseline Configuration Data Configuration Data Configuration Data Configuration Data Configuration Here Configuration Here Configuration Data Configuration Data Confi
	Name Value	М нер

図 67. 「コレクションに割り当てる」機能

「Configuration Baselineの割り当てウィザード (Assign Configuration Baseline Wizard)」が開き、「コレクションの選択 (Choose Collection)」ウィンドウが表示 されます。

Assign Configuration Basel	ine Wizard	2
Choose Collection	nc	
Choose Baselines Choose Collection Set Schedule Summary Progress Confirmation	Select a collection that contains the computers to be targeted with the selected configuration baselines. Collection: To Include members of subcollections	
	<pre></pre>	:el

図 68. 「コレクションの選択」ウィンドウ

- 2. 「**コレクション** (Collection)」フィールドの横にある「**ブラウズ**」をクリックして、ターゲットのクライアント・コレクションを選択します。
- 3. 「次へ (Next)」をクリックします。
- 4. ベースライン検証のスケジュールを選択します。単純なスケジュールを選択する ことも、カスタム・スケジュールを作成することもできます。

Assign Configuration Base	line Wizard	>
Set Schedule Choose Baselines	Specify when the configuration baseline will be assessed for compliance by computers in the target	
Choose Collection	collection.	
Summary Progress Confirmation	 Simple schedule Run every: 7 Days Custom schedule No custom schedule defined. Customize 	
	< Previous Next > Einish Cancel	

図 69. 「スケジュールの設定」ウィンドウ

5. 「完了」をクリックしてウィザードを終了します。

エンドポイントの基準の評価 このタスクについて

ベースラインとその子構成項目は、作成または選択されたスケジュールに従って自動評価されます (構成項目の設定が検査されます)。ただし、以下のようにして前倒しで評価できます。

手順

1. エンドポイントが SCCM サーバー上にあること、および SCCM クライアン ト・エージェントがインストールされていることを確認します。そうでないと、 エンドポイントは SCCM サーバーからベースラインを受け取りません。 エンドポイントが 32 ビットの場合は、「コントロール パネル」 >
 「Configuration Manager」をクリックします。エンドポイントが 64 ビットの 場合は、「コントロール パネル」 > 「32 ビットのコントロール パネルの項目 の表示」 > 「Configuration Manager」をクリックします。



「Configuration Manager のプロパティ」ウィンドウが開きます。

3. 「動作」タブで「コンピューター ポリシーの取得および評価サイクル」を選択 して、「動作の開始」をクリックします。アクションが開始されたことを通知す るウィンドウが開きます。「OK」をクリックします。

Configuration Manag	er Properties	?	×
General Components / You can initiate actions t currently installed on you	Actions Advanced Update o occur on the Configuration r computer.	es Configurations	e Run pl Advertis
Actions:			
Branch Distribution Poi Discovery Data Collect File Collection Cycle	nt Maintenance Task ion Cycle		
Hardware Inventory Cy Machine Policy Retriev	cle al & Evaluation Cycle		
Software Inventor Software Metering Software Updates User Policy Retrie Windows Installer	Machine Policy Retrieval The action has been complete.	& Evaluation Cycle	several minutes to
			ОК
		Initiate Action	
	OK Can	cel Apply	

図 71. アクションが開始されたことを示すウィンドウ

4. 数分後、ベースラインが「構成」タブに表示されます。ベースラインが表示され ない場合は、「最新表示」をクリックします。

Name	Version	Last Evaluati	Complian	Eva
IBM Baseline - 1	1.00	5/5/2011 5:	Error	Idle

図 72. 「構成」タブ

注: 「Configuration Baseline」リスト・ビューにベースラインがすぐに表示され ない場合は、次の図に示すように、SCCM クライアント・エージェントが SCCM コンソールにあることを確認してください。

Configuration Manager Console					
File Action View Window Help					
🔶 🔿 🔝 🖬					
System Center Configuration Manager	All Windows Server Syst	ems 1 items found			
Site Database (X12 - IBM-6RS37JSWCA					1 - 1
E Sternardsgeneration	LOOK TOT:	in JA		Hind Now	Clear
🖂 📴 Computer Management					
E 🚅 Collections	Name	Resource Type	Domain	Site Code	Client Approvi
All Active Directory Security All Desktops and Servers All Desktops and Servers All Systems All User Groups All Users All Users All Vindows 2000 Profession All Windows 2000 Profession All Windows Mobile Devices All Windows Mobile Pocket P All Windows Mobile Pocket P All Windows Mobile Pocket P All Windows Mobile Smartph All Windows Server 2003 Sy All Windows Server Systems All Windows Vorkstation or All Windows Vorkstation or All Windows Vorkstation or All Windows XP Systems All Windows XP Systems	IBM-8RS37JSWCAT	System	W2K8EE	XYZ	Yes Approvi
Conflicting Records					
E Software Updates					
🔲 🌐 🗇 Operating System Deployment		-			
凶 73. SCCM クライアント・コ	ニージェントの状態	ď			

5. ベースラインを選択して、「評価 (Evaluate)」をクリックします。数分後に「評 価 (Evaluate)」ボタンが使用可能になります。ベースラインを選択し、「レポー トの表示 (View Report)」をクリックしてレポートを確認します。

Name	Version	Last Evaluati	Complian	Eva
BM Baseline - 1	1.00	5/5/2011 5:	Error	In P

図 74. 「レポートの表示 (View Report)」ボタンが使用可能になっている「構成」タブ

評価レポートの表示

状況によっては、評価対象設定(スクリプト)から値が返されない場合があります。

このような状況が発生する理由はいくつかあります。

- エンドポイントに IMM モジュールがない。
- エンドポイントに IMM モジュールはあるが、評価対象の設定値がエンドポイン トで見つからない。
- IMM モジュールへの接続に、誤ったユーザー ID とパスワードが使用された。
- ASU.exe ファイル・バージョンが v3.60 以降ではない。
- 評価がタイムアウトになった (5分)。 SCCM は時間制限を設定します。

注: 評価対象設定から値が返されない場合、SCCM クライアント・エージェントは その設定がエンドポイント上で非準拠であるとみなし、重大度レベルを「情報」と して評価します。評価レポートでは原因を指定できません。原因を判別するには、 Windows イベント ビューアのログで詳細を確認する必要があります (ログの例につ いては、図 3 を参照してください)。

Setting/Object Type	Setting/Object Description	Constraint Name	Constraint Description	Severity	Constraint	Instance Data	Current Value
Script	Configure the IMM port assignment for "IBM Systems Director over HTTP." min="0" max="65535" default="5988"	Instance count validation	The validation of the number of instances of an object or setting	Information	(number(count (ns_ScopeId_550a3dbb-8f51-47a7- 86ac- eef6929722ab_this:Setting_a006e5d1- 83e7-4c9b-bc0c-748ec061f2be)) >number(0))		0
Script	mode of operation if a power loss occurs. This setting can also be configured via BIOS F1 setup. Restore: Restores system to the same state it was before	Instance count validation	The validation of the number of instances of an object or setting	Information	(number(count (ns_ScopeId_550a3dbb-8f51-47a7- 86ac- eef6929722ab_this:Setting_afeee205- 85be-4fa3-9782-8de1bf9d0792)) >number(0))		0
	Setting/Object Type Script	Setting/Object Setting/Object Type Description Configure the IMM port assignment for "IBM Systems Director over HTTP." min="0" max="65535" default="5988" mode of operation if a power loss occurs. This setting can also occurs. This setting can also occurs. This setting can also setting can also occurs. This setting can also setting c	Setting/Object Type Setting/Object Description Constraint Name Type Description Name Configure the IMM port assignment for "IBM Systems Director over HTTP." min="0" max="65535" default="5988" Instance count validation Script mode of operation if a power loss occurs. This setting can also be configured via BIOS F I setup. Restore: Restores system to the same state it was before Instance	Setting/Object Setting/Object Constraint Constraint Type Description Name Description Configure the INMM port assignment for "IBM Systems Director over HTTP." min="0" max="65535" Instance count validation The validation of the number of instances of an object or setting Script mode of operation if a power loss occurs. This settin gcan also the same state it was before Instance count validation The validation of the number of instances of an object or setting	Setting/Object Setting/Object Constraint Description Constraint Name Constraint Description Severity Type Description Name Description Severity Configure the INM port assignment for "IBM Systems Director over HTTP." min="0" max="65535" Instance count validation The validation of the number of instances of an object or setting Information Script mode of operation if a power loss occurs. This setup. Restore: Restores system to the same state it was before Instance count validation The validation of the number of instances of an object or setting Information	Setting/Object Type Setting/Object Description Constraint Name Constraint Description Severity Constraint Seript Configure the IMM port assignment for "IBM Systems Director over HTTP." min="0" max="65535" default="5988" The validation of instances of an object or setting The validation of instances of an object or setting Information (mumber(count (ns_Scopeld_50a3dbb-8t51-47a7- 86ac- eef6929722ab_this:Setting_a006e5d1- 83e7-4c9b-bc0c-748ec061f2be)) >number(0)) Script mode of operation if a power loss occurs. This setting can also the configured via BIOS F1 setup. Restore: Restores system to the same state it was before The validation of the number of instances of an object or setting Information Script mode of operation if a power loss occurs. This setting can also occurs. This setting setting. Restore: Restores system to the same state it was before The validation The validation of the number of instances of an object or setting Information	Setting/Object TypeSetting/Object DescriptionConstraint NameConstraint DescriptionSeverityConstraintInstance DataScriptConfigure the IMM port assignment for "IBM Systems Director over HTTP." min="0" max="65535" default="5988"The validation of the number of instances of an object or settingThe validation of the number of instances or settingInformation (ns_Scopeld_550a3dbb-8f51-47a7- 86ac- eef6929722ab_this:Setting_a006e5d1- 83e7-4c9b-bc0c-748ec061f2be)) >number(0))InformationScriptmode of operation if a power loss occurs. This setting can also be configured validationThe validation of the number of instances or settingInformation finformation(number(count (number(count (ns_Scopeld_550a3dbb-8f51-47a7- 86ac- eef6929722ab_this:Setting_a006e5d1- 83e7-4c9b-bc0c-748ec061f2be)) >number(0))Information



図 76. Windows イベント・ビューアーのログ

ホーム・ページの概要作成の実行

このタスクについて

「ホーム・ページの概要作成 (Homepage Summarization)」によって、SCCM クライ アントの構成準拠性状況の概要が作成されます。

手順

 SCCM コンソールで「必要な構成管理 (Desired Configuration Management)」 を右クリックし、「ホーム・ページの概要作成の実行 (Run Homepage Summarization)」を選択します。



図 77. 「ホーム ページの概要作成の実行」機能

 数分後、再び「必要な構成管理 (Desired Configuration Management)」を右クリ ックし、「最新表示」を選択します。指定されたベースライン・レポートがウィ ンドウに表示されます。

Image: Action View Vindow Pep Image: Action View View View View View View View View	ows administrators to assess co ry - Last Updated: 5/5/201 rcompliance: Catego led Cou 100.00	nfiguration compliance for 1 5:56 PM ory: All 1 0 %	Actions Desired Configuration Man Schedule Home Page Su Run Home Page Summari Grue Feedback View New Window from Here Refresh Properties Help Help
Pystem Centre Configuration Manager System Centre Configuration Management Ste Management B Collections Conficting Records Software Distribution B Software Updates Configuration Baselines C	ows administrators to assess co ry - Last Updated: 5/5/201 ncompliance: T Catego ied Cou 100.00	nfiguration compliance for 1 5:56 PM ary: All 0 %	Actions Desired Configuration Man 4 Schedule Home Page Su Run Home Page Summari Give Feedback View New Window from Here Refresh Properties Properties Help Help
Step Database (NY2 - IBM-BRS372SWCAT, : Step Database (NY2 - IBM-BRS372SWCAT, : Computer Management Computer Management Computer Management Confluctions Software Updates <p< th=""><th>ovis administrators to assess co ry - Last Updated: 5/5/201 incompliance: T catego ied Cou 100.04</th><th>nfiguration compliance for 1 5:56 PM ory: All 0 %</th><th>Desired Configuration Man 4 Schedule Home Page Su Run Home Page Summari Give Feedback View New Window from Here Give Refresh Properties Properties Help</th></p<>	ovis administrators to assess co ry - Last Updated: 5/5/201 incompliance: T catego ied Cou 100.04	nfiguration compliance for 1 5:56 PM ory: All 0 %	Desired Configuration Man 4 Schedule Home Page Su Run Home Page Summari Give Feedback View New Window from Here Give Refresh Properties Properties Help
B Software Metering B Softwa	red Cou	0 %	Refresh Properties Help
B Reporting B Configuration Management B Configuration Tems B Configuration Tems B Configuration Tems B Current Configuration Tems B Security Rights B Security Rights	100.00	0 %	Properties Help
Configuration Baselines Configuration Items Configuration Items Configuration Items Source Security Rights Security Rights	100.00	0 %	P Help
Links and Resources	Failure Count		
Use the following links, reports, and resources to Navigation Web F	eports	Resources	
Configure desired configuration	npliance by Configuration Ba	② Desired Configuration Ma	
Manage configuration items	mpliance by Collection	② Desired Configuration Ma	
S Manage configuration baselines S Co	mpliance by Computer	Configuration Pack Downl	
View reports 🛛 🌚 Co	npliance by Configuration It	ConfigMgr Home on Micro ConfigMgr TechCenter on	
		1.1	

図 78. 基準レポート

3. レポート・ビューを開くには、ベースライン名のリンク・ラベルをクリックしま す。 DCM のレポートについて詳しくは、http://technet.microsoft.com/en-us/library/ bb680430.aspx を参照してください。

注: SCCM コンソールは、レポートへのアクセスが使用可能に設定されている必要があります。そうでない場合、SCCM コンソールでレポート・ビューを開くことができません。

IBM Configuration Pack を SCCM 2012 コンソールに適用

このセクションでは、IBM 構成データを SCCM サーバーにインポートする方法に ついて説明します。

DCM への構成データのインポート

手順

SCCM コンソールを開き、「Desired Configuration Management」を展開します。
 「構成ベースライン」または構成項目を右クリックし、「構成データのインポート」を選択します。

Folder Tools System Center 2012	Configura	tion Manager						
Home Folder								^ 🕐
1 🔪 👂								
Create Import Saved Configuration Item Configuration Data Searches •								
Create Search								
← → ▼ 👔 \ ► Assets and Compliance ►	Overview	Compliance Settings	Configuration Items					- 2
Assets and Compliance 4	Configur	ration Items 0 items						
4 🍠 Overview	Search					×	Search	Add Criteria 🕶
🔱 Users	Icon	Name		Туре	Device Type	Revision	Child	Relationships
Bevices Survey Collections User Collections User State Migration Asset Intelligence Software Metering Compliance Settings Gonfiguration Items Configuration Items Endpoint Protect Import Configuration Da Folder	m ta	Þ		1 No items fi	ound.			
Assets and Compliance Software Library Monitoring Administration								

図 79. 「構成データのインポート」機能

2. 「追加」をクリックして、エクスポートされた IBM Configuration Pack .cab フ ァイルを選択します。

Import Configuration Da	ta Wizard				×
Select Files					
Select Files Summary Progress Confirmation	Specify the files fro configuration base Import configuration items from other configuration d Files that contain configur	om which to import lines and configuration baseline: ata sources.	configuration item s from best-practices Config baselines:	us and juration Packs and	
		additions of conliguration	bascinics.	0	-
	Name	Date Modified	Size	~	-
		There are no items to s	show in this view.		0
	Create a new copy of	the imported configuration t	Add	Remove]
	0	< Previous	Next > Summa	Cancel	

図 80. エクスポートされた IBM Configuration Pack .cab ファイルの追加

3. 「IBM Configuration Pack」を選択し、「開く」をクリックしてインポートしま す。



図 81. エクスポートされた .cab ファイルの選択

4. 「パブリッシャーの検査 (Verify Publisher)」ウィンドウが開きます。「はい」 をクリックして、ファイルをインポートします。

🤰 Import Configuration Dat	a Wizard 🔀
Select Files	
Select Files Summary Progress Confirmation	Specify the files from which to import configuration items and configuration baselines from best-practices Configuration Packs and from other configuration data sources.
	<pre></pre>

図 82. 「パブリッシャー検査 (Publisher Check)」ダイアログ・ボックス

5. 「次へ」をクリックして、IBM Configuration Pack .cab ファイルをインポート します。

🔖 Import Configuration Data Wizard



図 83. 選択した .cab ファイルのインポート

6. 構成項目が IBM Configuration Pack ツリーに表示されます。 「次へ (Next)」を クリックします。

Import Configuration Da	ta Wizard 🛛 🛛 🗙
Summary	
Select Files Summary Progress	Confirm the configuration data to be imported:
Confirmation	The wizard will import the following configuration data. Details: Configuration Baselines (0) Configuration Items (2) IBM Configuration Item Configuration Item Sample
	To change these settings, click Previous. To apply the settings, click Next.
	<previous next=""> Summary Cancel</previous>

図 84. 構成データの確認

7. 構成データが正常にインポートされたことを示すメッセージが表示されます。 「**クローズ**」をクリックして、ウィザードを終了します。

🔰 Import Configuratio	on Data Wizard	×
Confirmation	n	
Select Files Summary Progress Confirmation	Completing the Import Configuration Data Wizard You have successfully completed the Import Configuration Data Wizard with the following details. Details:	_
	Configuration Baselines (U) Configuration Items (2) IBM Configuration Item [Success] Configuration Item Sample [Success]	
	To close this wizard, click Close.	
	<previous next=""> Summary Close</previous>	

図 85. 正常終了のウィンドウ

8. 「**構成項目**」ノードを右クリックして「**最新表示**」を選択します。インポートさ れた構成項目がウィンドウに表示されます。

Folder Tools System Center 2)12 Configu	ration Manager						- 🗆 ×
Home Folder								^ 🔞
1 🔪 😥								
Create Import Saved Configuration Item Configuration Data Searches								
Create Search								
← → ▼ 👔 \ ► Assets and Compliance	 Overview 	Compliance Settings	Configuration Items					- 2
Assets and Compliance	< Configu	uration Items 2 items						
4 🍠 Overview	* Search					×	Search	Add Criteria 🔻
🚨 Users	≡ Icon	Name		Туре	Device Type	Revision	Child	Relationships
n Devices		IBM Configuration Item		Application	Windows	1	No	No
💰 User Collections	2	Configuration Item Sample		Application	Windows	1	No	No
Device Collections	-							5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
ssets and Compliance								
Software Library								
Monitoring								
Administration								
	* <							•
Ready								4

図 86. インポートされた構成項目を持つ SCCM

注: インポートされた構成項目の状況は「ロック (Lock)」となっている場合があ ります。状況が「ロック (Lock)」になっている原因は、以下のいずれかです。

- 構成データが読み取り専用である。
- ・構成データが SCCM コンソール管理者によって作成されたものではない。

構成項目のプロパティーの表示 このタスクについて

このセクションでは、SCCM サーバーにインポートされた IBM 構成データを表示 する方法について説明します。

手順

1. 構成項目のプロパティーを表示するには、対象の構成項目をダブルクリックしま す。「設定」タブのページに IBM 設定コレクションがリストされます。

設定の1 つを任意に選択すると、検証する設定を表示できます。設定をダブル クリックして表示するか、または設定を1 つ選択して「編集」をクリックしま す。

		Q
Setting Type	Inherited	User Setting
Script	No	No
	Setting Type Script Script Script Script Script	Setting TypeInheritedScriptNoScriptNoScriptNoScriptNo

図 87. 「設定」タブ

2. 「検出方法 (Detection Method)」タブでは、IBM Configuration Pack Editor が構成項目ごとに検出方法を定義しています。この検出方法では、エンドポイントにASU.exe ファイルが存在するかどうかが検査されます。このファイルが存在しない場合は、構成項目から「検出されませんでした (Not Detected)」状態が返され、子設定グループの検証が停止されます。

eneral Settings Compliance Rules Detection Methods Supported Plat	forms Relatio	onships Security
Specify how this application is detected on client devices.		
 Always assume application is installed 		
C Use Windows Installer detection		
Product code:		Open
Version:		
This application is installed for one or more users		
Lies a queter exist to detect this application.		
 Use a custom script to detect this application 		
VBScript	•	Open
set fso=CreateObject("Scripting.FileSystemObject") CheckASULocation()	<u> </u>	Clear
Sub CheckASULocation()		
Sub CheckASULocation() Dim asuName Const FoundASUL="Found the location of asy eve "		
Sub CheckASULocation() Dim asuName Const FoundASU="Found the location of asu.exe." Const NotFound="" If (fice FileFinite("")) Then		
Sub CheckASULocation() Dim asuName Const FoundASU="Found the location of asu.exe." Const NotFound="" If (fso.FileExists("")) Then Wscript.Echo FoundASU Evit Sub		
Sub CheckASULocation() Dim asuName Const FoundASU="Found the location of asu.exe." Const NotFound="" If (fiso.FileExists("")) Then Wscript.Echo FoundASU Exit Sub Else		
Sub CheckASULocation() Dim asuName Const FoundASU="Found the location of asu.exe." Const NotFound="" If (fso.FileExists("")) Then Wscript.Echo FoundASU Exit Sub Else EventLog=EventLog & " [Not Found ASU]: " & "" const KEY_QUERY_VALUE = &H0001		
Sub CheckASULocation() Dim asuName Const FoundASU="Found the location of asu.exe." Const NotFound="" If (fso.FileExists("")) Then Wscript.Echo FoundASU Exit Sub Else EventLog=EventLog & " [Not Found ASU]: " & "" const KEY_QUERY_VALUE = &H0001 const KEY_LOCAL_MACHINE = &H80000002 strComputer = "."		
Sub CheckASULocation() Dim asuName Const FoundASU="Found the location of asu.exe." Const NotFound="" If (fso.FileExists("")) Then Wscript.Echo FoundASU Exit Sub Else EventLog=EventLog & " [Not Found ASU]: " & "" const KEY_QUERY_VALUE = &H0001 const HKEY_LOCAL_MACHINE = &H80000002 strComputer = "." Set oReg=GetDbject("winmgmts:{impersonationLevel=impersonate}!\\" strComputer & "\root\default:StdRegProv")	&	
Sub CheckASULocation() Dim asuName Const FoundASU="Found the location of asu.exe." Const NotFound="" If (fso.FileExists("")) Then Wscript.Echo FoundASU Exit Sub Else EventLog=EventLog & "[Not Found ASU]: " & "" const KEY_QUERY_VALUE = &H0001 const KEY_QUERY_VALUE = &H0001 const KEY_QUERY_VALUE = &H0001 const HKEY_LOCAL_MACHINE = &H80000002 strComputer = "." Set oReg=Get0bject("winmgmts:{impersonationLevel=impersonate}!\\" strComputer & "\root\default:StdRegProv")	&	
Sub CheckASULocation() Dim asuName Const FoundASU="Found the location of asu.exe." Const NotFound="" If (fso.FileExists("")) Then Wscript.Echo FoundASU Exit Sub Else EventLog=EventLog & " [Not Found ASU]: " & "" const KEY_QUERY_VALUE = &H0001 const HKEY_LOCAL_MACHINE = &H80000002 strComputer = "." Set oReg=GetObject("winngmts: (impersonationLevel=impersonate)!\\" strComputer & "\root\default:StdRegProv")	£.	Second In the second

図 88. 「検出方法」タブ

基準の作成

このタスクについて

エンドポイントで検証するすべての構成項目が含まれているベースラインを作成す る必要があります。

注: ベースラインのないエンドポイントに構成項目を割り当てることはできません。

手順

- 1. SCCM コンソールで「Desired Configuration Management」ノードを展開します。
- 2. 「構成ベースライン」を右クリックし、「新しいConfiguration Baseline (New Configuration Baseline)」を選択します。

「Configuration Baselineの作成 (Create Configuration Baseline)」ウィザードが開きます。

Name:	IBM-Baseline Sampl	e			
Description:					
					2
Configuration data:					0
Configuration data: Filter Name		Туре	Purpos	e	Revision
Configuration data: Filter Name	There are no	Type p items to show i	Purposi n this view.	e	Revision
Configuration data: Filter Name	There are no	Type p items to show i	Purposi n this view.	e	Revision
Configuration data: Filter Name	There are no	Type p items to show i	Purposi n this view.	e	Revision
Configuration data: Filter Name Add V	There are no Change Purpose	Type to items to show i	Purposi n this view. Change Revision	8	Revision Remove
Configuration data: Filter Name	There are no	Type o items to show i	Purposi n this view.	e	Revision
onfiguration data: iiter Name Add	There are no Change Purpose	Type tems to show i	Purposi n this view. Change Revision	8	Revision
onfiguration data: Filter Name Add Configuration Items Software Updates	There are no Change Purpose arching and filterin	Type b items to show i	Purposi n this view. Change Revision	8	Revision Remove

図 89. 「Configuration Baselineの作成」機能

3. 名前を入力し、オプションとしてベースラインの説明を入力します。「**追加**」を クリックします。

cate configuration base	eline				
ecify general infor	mation about th	nis configura	tion baseline		
Name:	IBM-Baseline Samp	le			
Description:					
	,				_
onfiguration data:					
onfiguration data:					ç
ionfiguration data: Filter Name	These are o	Type	Purpose	Revision	Ş
onfiguration data: Filter Name	There are n	Type o items to show in	Purpose	Revision	Ş
onfiguration data: Filter Name Add v	There are n	Type o items to show in	Purpose this view. hange Revision	Revision	<u>چ</u>
onfiguration data: Filter Name Add Configuration Items	There are n	Type o items to show ir	Purpose a this view. hange Revision	Revision	2
onfiguration data: Filter Name Add V Configuration Items Software Updates	There are n Change Purpose arching and filteri	Type o items to show in	Purpose this view. hange Revision	Revision	
Add Configuration Items Software Updates Configuration Baselines	Change Purpose arching and filteri	Type o items to show in	Purpose a this view. hange Revision	Revision Remove Categories	2
onfiguration data: Filter Name Add Configuration Items Software Updates Configuration Baselines	Change Purpose	Type o items to show ir	Purpose a this view. hange Revision	Revision Remove Categories	<u>۶</u>

図 90. 「構成の追加 (Add Configuration)」 ウィンドウ

4. 「構成項目」リンクをクリックして、検証する構成項目を選択します。

elect the c aseline	onfiguration i	tems that you w	vant to add to this c	onfiguration
ailable configural	tion items:			
lamo	Turce	Latest Pourision	Description	Status
vame	Туре	There are no items to s	show in this view	Status
		Add	Remove	
		Add	Remove	
onfiguration items	that will be added to	Add this configuration baseli	Remove	
onfiguration items	that will be added to	Add this configuration basel	Remove	ر
onfiguration items ilter Name	that will be added to	Add this configuration baseli	Remove	Status
onfiguration items ilter Name Configuration Item	that will be added to Type I Sa Application	Add this configuration basel Latest Revision Revision 1	Remove ine: Description A Configuration Item Sampl	Status e Enabled
onfiguration items ilter Name Configuration Item BM Configuration	that will be added to Type Sa Application Item Application	Add this configuration basel Latest Revision Revision 1 Revision 1	Remove ine: Description A Configuration Item Sampl IBM Configuration Item	Status e Enabled Enabled
onfiguration items ilter Name Configuration Item BM Configuration	that will be added to Type Sa Application Item Application	Add this configuration basel Latest Revision Revision 1 Revision 1	Remove ine: Description A Configuration Item Sampl IBM Configuration Item	Status e Enabled Enabled
onfiguration items ilter Name Configuration Item BM Configuration	that will be added to Type I Sa Application Item Application	Add this configuration baseli Latest Revision Revision 1 Revision 1	Remove	Status e Enabled Enabled
nfiguration items ilter Name Configuration Item BM Configuration	that will be added to Type I Sa Application Item Application	Add this configuration baseling Latest Revision Revision 1 Revision 1	Remove ine: Description A Configuration Item Sampl IBM Configuration Item	Status e Enabled Enabled
onfiguration items ilter Vame Configuration Item BM Configuration	that will be added to Type I Sa Application Item Application	Add this configuration baseline Latest Revision Revision 1 Revision 1	Remove ine: Description A Configuration Item Sampl IBM Configuration Item	Status e Enabled Enabled
onfiguration items ilter Name Configuration Item BM Configuration	that will be added to Type Sa Application Item Application	Add this configuration basel Latest Revision Revision 1 Revision 1	Remove ine: Description A Configuration Item Sampl IBM Configuration Item	Status e Enabled Enabled

図 91. 「構成項目の追加」ウィンドウ

5. 「OK」をクリックしてウィザードを終了します。

ベースラインをコレクションに割り当てる このタスクについて

あるコレクションのクライアントの設定を確認する場合は、ベースラインをコレク ションに割り当てることができます。

手順

1. SCCM コンソールで、新しいベースラインを右クリックして「デプロイ (Deploy)」を選択します。



図 92. 「コレクションにデプロイ (Deploy to a Collection)」機能

「Configuration Baselineの割り当て (Assign Configuration Baseline)」ウィザード が開きます。

Deploy Configuration Baselines	×
Select the configuration baselines	s that you want to deploy to a collection
Available configuration baselines:	Selected configuration baselines:
Filter P	Filter 🔎
There are no items to show in this view.	Add > IBM-Baseline Sample
Remediate noncompliant rules when supporte	d
\square Allow remediation outside the maintenance	e window
Generate an alert:	
When compliance is below:	90 📩 %
Date and time:	6/ 6/2012 🔽 10:23 AM 🚊
🔲 Generate System Center Operations Man	ager alert
Select the collection for this configuration baseline	e deployment. Browse
Schedule	
Specify the compliance evaluation schedule for th	nis configuration baseline:
• Simple schedule	
C Custom schedule	Days
No custom schedule defined.	Customize
<u>0</u>	0K Cancel

図 93. 「構成ベースラインの割り当て (Assign Configuration Baseline)」機能

注: 非準拠設定を修復する場合は、「サポートされている場合は非準拠規則を修 復 (Remediate noncompliant rules when supported)」を選択します。この設定 を選択しても、この設定が準拠している場合は何も行われません。設定が非準拠 の場合、SCCM はその設定を予測値に変更しようとします。修復アクションは必 ずしも正常に行われるとは限りません。

- 2. 「**コレクション** (Collection)」フィールドの横にある「**ブラウズ**」をクリックして、ターゲットのクライアント・コレクションを選択します。
- 3. 「OK」をクリックします。

エンドポイント上でのベースラインの評価

このタスクについて

ベースラインとその子構成項目は、作成または選択されたスケジュールに従って自動評価されます (構成項目の設定が検査されます)。ただし、以下のようにして前倒しで評価できます。

手順

- 1. エンドポイントが SCCM サーバー上で検出されるようにし、SCCM クライアン ト・エージェントのインストールを済ませておきます。そうでないと、エンドポ イントは SCCM サーバーからベースラインを受け取りません。
- 2. エンドポイントが 32 ビットの場合は、「**コントロール パネル**」 >

「Configuration Manager」をクリックします。エンドポイントが 64 ビットの 場合は、「コントロール パネル」 > 「32 ビットのコントロール パネルの項目 の表示」 > 「Configuration Manager」を開きます。



図 94. 「コントロール パネル」フォルダー内の Configuration Manager

「Configuration Manager のプロパティ」ウィンドウが開きます。

3. 「動作」タブで「コンピューター ポリシーの取得および評価サイクル」を選択 して、「動作の開始」をクリックします。アクションが開始されたことを通知す るウィンドウが開きます。「OK」をクリックします。

Configuration Manage General Components A You can initiate actions to currently installed on your	er Properties ctions Advanced Updates Configuration occur on the Configuration Manager comp computer.	ons onents
Actions:		pi Advertis
Branch Distribution Poir Discovery Data Collecti File Collection Cycle Hardware Inventory Cyc	it Maintenance Task on Cycle	
Software Inventor Software Metering Software Updates User Policy Retrie Windows Installer	A Evaluation Cycle Machine Policy Retrieval & Evaluation The action has been initiated. It ma complete.	ay take several minutes to
		ОК
	Initiate Actio	n
	OK Cancel A	Apply

図 95. アクションが開始されたことを示すウィンドウ

4. 数分後、ベースラインが「構成」タブに表示されます。ベースラインが表示され ない場合は、「最新表示」をクリックします。

Configuration Mana	iger Properti	ies	
General Cache	Components Configu	Actions	Site Network
Assigned configuratio	n baselines:		
Name	Revision	Last Evaluati	Complian Eva
IBM-Baseline Sam	1	N/A	Unknown Idle
•			Þ
	1	r. n 11	
		Jew Report	Refresh
Evaluate			

- 図 96. 「構成」タブ
- 5. ベースラインを選択して、「評価 (Evaluate)」をクリックします。数分後に「評 価 (Evaluate)」ボタンが使用可能になります。ベースラインを選択し、「レポー トの表示 (View Report)」をクリックしてレポートを確認します。

	Confi	gurations	is S Netwo	ite ork
ssigned configuration I	baselines:			
Name	Revi	Last Evaluati	Complian	Evalu
IBM-Baseline Sample	2	11/15/2012	Non-Com	Idle
				Þ
•				

図 97. 「レポートの表示 (View Report)」ボタンが使用可能になっている「構成」タブ

評価レポートの表示

状況によっては、スクリプトが評価対象設定の値を返さない場合があります。

- エンドポイントに IMM モジュールがない。
- エンドポイントに IMM モジュールはあるが、評価対象の設定値がエンドポイン トで見つからない。
- IMM モジュールへの接続に、誤ったユーザー ID とパスワードが使用された。
- ASU.exe ファイル・バージョンが v3.60 以降ではない。
- 評価がタイムアウトになった (5分)。 SCCM は時間制限を設定します。

注:評価対象設定から値が返されない場合、SCCM クライアント・エージェントは その設定がエンドポイント上で非準拠であるとみなし、重大度レベルを「情報」と して評価します。評価レポートでは原因を指定できません。原因を判別するには、 Windows イベント ビューアーのログで詳細を確認する必要があります。(ログの例

Summary:

Name	Revision	Туре	Baseline Policy	Compliance State	Non- Compliance Severity	Discovery Failures	Non- Compliant Rules	Remediated Rules	Conflicting Rules
Test	1	Baseline		Non-Compliant	Information	0	5	3	0
Test	1	Application Configuration	Required	Non-Compliant	Information	0	5	3	0

図 98. 評価された結果の要約



図99. Windows イベント・ビューアーのログ

図 3 に DCM ログの確認方法が示されています。

Remediated Rules:

Remediated Rule:

Rule Name	Rule Description	Setting Name	Setting Type	Setting Description		Instanc	e Data	
				Configure the D.O.I. Clobal Login Setting "Account	Expression	Instance Source	Previous Value	Remediated Value
rule	Description	IMM AccountSecurity	Script	security level." Select the authority level associated with this login id.	Equals High security settings	Property = Line[0]	Legacy security settings	High security settings

Remediated Rule:

Rule Name	Rule Description	Setting Name	Setting Type	Setting Description		Insta	ice Data	
				Configure the IMM Global Login Setting "Default Password Expired". To	Expressio	n Instance Source	Previous Value	Remediated Value
rule	Description	IMM DefPasswordExp	Script	AccountSecurity level Specify whether or not the default password is exprired on the next login.	Equals Enabled	Property = Line[0]	Disabled	Enabled

図100. 修復された規則

IBM Configuration Capture の実行 このタスクについて

IBM Configuration Capture は、IBM サーバーから IMM、UEFI、および UEFI (Romley プラットフォーム) 設定をキャプチャーし、キャプチャーした設定を構成 記述 .xml ファイルにエクスポートすることができます。 IBM Configuration Capture を開始するには、「**スタート**」メニューから **IBM Configuration Capture** のショートカットをクリックします。 IBM Configuration Capture は、IBM Configuration Pack がインストールされていないコンピューターでも、IBM Configuration Capture の .exe ファイルをそれらのコンピューターにコピーすること によって起動できます。

注: IBM Configuration Capture.exe は、ライセンス資格をアクティブ化せずに起動できます。

手順

1. IBM Configuration Capture の .exe ファイルをクリックして、ウィザードを起動 します。ウェルカム・ページが開きます。

📕 IBM Configuration Capture	×
Welcome	IBM
Welcome to the IBM Configuration tool, click Next to continue.	Step 1/5
The IBM Configuration Capture tool captures the local IMM/uEFI settings. T settings are saved to the Configuration Description XML file. The Configura Description can be imported to the IBM Configuration Pack Editor.	hese tion
< Back Next >	Finish Cancel

図 101. ウェルカム・ページ

튏 IBM Configuration Capture				×
Select ASU File				IBM.
Please appoint the ASU tool.You can use the local ASU file.	e built-in ASU file	or you can specially	/ appoint a	Step 2/6
 Use the built-in ASU file Please select a ASU(.exe) file 				
C:\IBM_SupportASU\asu6	4.exe		Browse	
	< Back	Next >	Finish	Cancel

図 102. ASU ファイルの選択

2. 「次へ」ボタンをクリックして、「一般情報」ページを表示します。このページ には、ローカル・コンピューターから情報が自動収集されます。

📕 IBM Configura	ion Capture		×
General Inf	ormation I description for this capture. Cli	ck Next to continue.	IBM.
Product Nam	e is 08, and Machine Type/	Model is IBM System x3100 M4	-[258242Z]
Name:	The captured IBM System x3100) M4 -[258242Z]- settings	
Description:			
- IMM Account	Optional)		
User ID:		Password:	
		<back next=""> F</back>	inish Cancel

図 103. 「一般情報」ページ

3. 「一般情報」ページで「次へ」ボタンをクリックします。 IBM Configuration Capture はローカル・コンピューターの IMM/UEFI/UEFI (Romley プラットフォ ーム) 設定値の収集を開始します。

🚡 IBM Configurati	on Capture	x
General Info	ormation	IBM.
Enter a name and dea	scription for this capture. Click Next to continue.	Step 3/6
Product Name	e is 7.0, and Machine Type/Model is Virtual Machine.	
Name:	The captured IBM System x3100 M4 -[258242Z]- settings	
Description:		
c	Collecting information from local computer, please wait $S_{1,3}^{(1)}$	
	< Back Next > Finish	<u>C</u> ancel

図 104. 情報の収集

4. 数分後、IBM Configuration Capture による設定値の収集が完了します。「設定の 選択」ページが開き、キャプチャーされた設定がリストされます。ここから、エ クスポートする設定を選択できます。

IMM Set	ttings uEFI Settings		
The f	following is IMM setting list		Selected Count: 59/59
	Property Name	Property Value	Description
	IMM.AutoNegotiate1	Yes	Configure the IMM Advanced Et
	IMM.BurnedInMacAddress	e4:1f:13:95:1f:3c	Read the IMM "Burned-in MAC
	IMM.DHCP1	DHCP then try static IP	Configure the IMM "DHCP" to s
	IMM.DHCPAssignedDomain		Reads the IMM DNS "Domain
	IMM.DHCPAssignedGateway1	9.125.90.1	Reads the IMM "Gateway addr
	IMM.DHCPAssignedHostIP1	9.125.90.183	Reads the IMM "IP address" as
	IMM.DHCPAssignedHostname	IMM2-e41f13951f3c	Reads the IMM "Host name" a
	IMM.DHCPAssignedNetMask1	255.255.255.0	Reads the IMM "Subnet mask"
	IMM.DHCPAssignedPrimary	9.125.90.211	Reads the Primary DNS Server 🚽
4			

図 105. IMM 設定値

MM Se	ettings uEFI Settings		
The	following is UEFI setting list		Selected Count: 250/250
	Property Name	Property Value	Description
	uEFI.CkeLowPolicy	Disable	Enable/Disable CKE Low Policy
	uEFI.Com1ActiveAfterBoot	Disable	Active after boot Settings.
	uEFI.Com1BaudRate	115200	Set your Baud Rate.
	uEFI.Com1DataBits	8	Set your Data bits.
	uEFI.Com1FlowControl	Disable	Flow Control Settings.
	uEFI.Com1Parity	None	Set your Parity.
	uEFI.Com1StopBits	1	Set your Stop Bits.
	uEFI.Com1TextEmul	ANSI	Set your Terminal Emulation.
	uEFI.Com2ActiveAfterBoot	Disable	Active after boot Settings.
•			

📕 IBM Configuration Capture		×
Select Settings		IBM
The Select Settings page provides a list of a settings you want to be included in the Conf	II the IMM/uEFI settings. Cli iguration Capture. Click Nex	t to select the Step 3/5
IMM Settings UEFI Settings		
The following is UEFI(Romley Platfor	m) setting list	Selected Count: 110/110
Property Name	Property Value	Description 🔺
BootModes.SystemBootMode	UEFI and Legacy	Controls which drivers option
DevicesandIOPorts.ActiveVid	Add-in Device	If Add-in Device is selected, vid
DevicesandIOPorts.AddOnS	Enable	Disabling an entry will prevent t.
DevicesandIOPorts.AddOnS	Enable	Disabling an entry will prevent t.
DevicesandIOPorts.AddOnS	Gen2	Set the PCIe slot as Generatio
DevicesandIOPorts.AddOnS	Enable	Note: Disabling some UEFI O
DevicesandIOPorts.Com1Act	Disable	Active after boot Settings.
DevicesandIOPorts.Com1Ba	115200	Set your Baud Rate.
DevicesandiOPorts.Com1Da	8	Set your Data bits. 🚽
•		
	< Back Next >	Finish Cancel

図 107. UEFI (Romley プラットフォーム) 設定値

注: ローカル・コンピューターに IMM、UEFI、または UEFI (Romley プラット フォーム) モジュールがない場合、または IMM アカウントが正しくない場合 は、キャプチャーが失敗することがあります。キャプチャーが失敗した場合は、 「Information」リンク・ボタンをクリックして詳細を表示できます。

B IDE Configuration captaire	×
Select Settings	IBM
The Select Settings page provides a list of all the IMM/uEFI settings. Click to select the settings you want to be included in the Configuration Capture. Click Next to continue.	Step 3/5
IMM Settings UEFI Settings	1
No IMM Settins were found on the local computer.	nformation
Property N IBM Configuration Capture - Information Inquires the IMM information failure. Reason: The User ID and/or Password that was entered is incorrect.	
OK OK Show Log File < Back Next > Finish	Cancel

図 108. 「IMM Account」が正しくない

5. 必要な設定を「設定の選択」ページから選択し、「次へ」ボタンをクリックしま す。 構成記述 .xml ファイルにエクスポートできる設定が「エクスポート」ペ ージにリストされます。

Property Name	Property Value	Туре	Description
DevicesandIOPorts.Slot5	Enable	UEFI(Romley Platform)	Disabling an er
DevicesandIOPorts.Slot5LEG	Enable	UEFI(Romley Platform)	Disabling an er
DevicesandIOPorts.Slot5PCI	Gen2	UEFI(Romley Platform)	Set the PCIe slu
DevicesandIOPorts.Slot5UEF	Enable	UEFI(Romley Platform)	Note: Disabling
DevicesandIOPorts.Video	Enable	UEFI(Romley Platform)	Disabling an er
DevicesandIOPorts.VideoLE	Enable	UEFI(Romley Platform)	Disabling an er
DevicesandIOPorts.VideoUE	Enable	UEFI(Romley Platform)	Note: Disabling
IMM.AccountSecurity	Legacy security settings	IMM	
IMM.AdapterConfigNetworkSe	No	IMM	
IMM.AdvancedAdapterConfigP	No	IMM	
IMM.AuthorityLevel.1	Supervisor	IMM	
IMM.AutoNegotiate1	Yes	IMM	Configure the It
			- F

図 109. 「Export」ページ

6. 「次へ (Next)」をクリックします。 「エクスポートが正常に完了しました」ウ ィンドウが開きます。

LIBM Configuration Capture				×
Export Successfully Comp	eted			IBM
Capture Finished.				Step 5/5
The IBM Configuration Capture to Administrator.NEVWVIN2K8R2\D	ol successfully expo esktop\captured .xm	rted the settings	s to: C:\Users	
Open the Configuration Descr	iption XML file folder			
Show Log File	< Back	Next≻	Finish	Cancel

図110. エクスポートが正常に完了しました

注: キャプチャーした Configuration Description ファイルを任意の IBM Configuration Pack Editor にエクスポートして管理することができます。詳しく は、24ページの『構成項目の作成』を参照してください。
第 4 章 ハードウェアおよびソフトウェアのサポート

このセクションのトピックでは、IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 によってサポートされるハードウェアおよびソフ トウェアについて説明します。

サポートされる Microsoft System Center 製品

IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager 5.0 ソリ ューションでは、以下の Microsoft System Center 製品がサポートされます。

- Microsoft System Center Configuration Manager 2007 R2
- Microsoft System Center Configuration Manager 2007 SP2
- Microsoft System Center Configuration Manager 2012
- Microsoft System Center Configuration Manager 2012 SP1
- Microsoft System Center Configuration Manager 2012 R2

サポートされるクライアント・システム

IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager では、 以下のクライアント・システムがサポートされます。

表 2. サポートされているシステム

製品ファミリー名	マシン・タイプ
System x3630 M4	7158
BladeCenter HS23E	8038,8039
BladeCenter HS22V	7871,1949
BladeCenter HS22	7870,1936,7809,1910
BladeCenter HS23	7875
System x3850 X6	3837
System x3550 M2	7946,4198
System x3550 M3	7944,4254
System x3550 M4	7914
System x3200 M2	4367,4368
System x3200 M3	7327,7328
System x3620 M3	7376
System x3630 M3	7377
System x3250 M4	2583
System x3100 M4	2582
System x3250 M3	4251,4252,4261
System x3250 M2	7657,4190,4191,4190
System 3630 M4	7158
Flex System x222 コンピュート・ ノード	7916

表2. サポートされているシステム (続き)

製品ファミリー名	マシン・タイプ
Flex System x440 コンピュート・ ノード	7917
Flex System x220 コンピュート・ ノード	7906,2585
Flex System x240 コンピュート・ ノード	8737
NeXtScale ノード	5455
System x [®] iDataPlex [®] dx360 M2 サーバー	7321,6380,7323
System x iDataPlex dx360 M3	6391
System x3650 M4	7915
System x3650 M4 HD	5460
System x3650 M2	7947,4199
System x3650 M3	7945,4255,5454
System x3530 M4	7160
System x3500 M4	7383
System x3300 M4	7382
System x3500 M2	7839
System x3500 M3	7380
System x3400 M2	7836,7837
System x3400 M3	7378,7379
System x3750 M4	8752
System x3250 M5	5458
System x3650 M4 BD	5466

クライアント・マシンにサポートされるオペレーティング・システム

IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager では、 以下のオペレーティング・システムがサポートされます。

- Windows Server 2003 SP2/R2
- Windows Server 2003 SP2/R2 x64
- Windows Server 2008 SP1/SP2
- Windows Server 2008 SP1/SP2 x64
- Windows Server 2008 SP1/R2
- Windows Server 2012 R2

第5章 トラブルシューティング

- IBM Configuration Pack Editor の使用中に問題が発生した場合は、 InstallationFolder¥logs フォルダーでログ情報を確認できます。このログ・フ ォルダーは、製品がアンインストールされるときに自動的に削除されます。
- エンドポイント上の IBM Configuration Pack の評価ログをエクスポートする場合 は、以下の手順に従います。
 - 1. 評価の後、「イベント ビューアー」を立ち上げます。
 - 2. 「Windows ログ (Windows Logs)」ツリー・ビューを展開します。
 - 3. 「アプリケーション (Application)」ノードを右クリックし、「イベントに名前 を付けて保存 (Save Events as)」をクリックします。

以下の方法を使用して、プロパティーが存在し、IMM アカウントが正しいかどう かを確認することもできます。

- 次のコマンドを入力して特定の IMM/uEFI プロパティーを取得します。

asu.exe show propertyname

例: asu.exe show IMM.HTTPPort

- 次のコマンドを入力して、特定の IMM/uEFI プロパティーをアカウントととも に取得します。

asu.exe show propertyname --user UserID --password Password

例: asu.exe show IMM.HTTPPort --user admin --password esW2Ad

 このスクリプトで評価対象設定を取得できない場合は、「評価レポートの表示 (Evaluation Report View)」セクションに値は返されず、SCCM クライアント・エ ージェントはその評価対象設定を非準拠とみなします。この評価対象の設定値の 詳細は、Windows のアプリケーション・ログから取得できます。アプリケーショ ン・ログで使用される用語とその説明を以下に示します。

[Not Found ASU]

指定のロケーションに ASU.exe ファイルが見つかりませんでした。

[TargetOS]

現行オペレーティング・システムのバージョン (64 ビットまたは 32 ビット)。

[Found ASU]

ASU.exe ファイルのロケーション。

[Property]

評価対象プロパティーの名前。

[Set ACCOUNT]

ユーザーが IBM Configuration Pack Editor で IMM アカウントを設定し たかどうかが反映されます。

[TimeOut]

評価がタイムアウトになったかどうかが示されます。

[Return Code]

ASU.exe ファイルの戻りコード。評価対象設定が見つかった場合の戻りコードは 0 です。それ以外の場合は、0 より大きい戻りコードが返されます。 ASU 戻りコードについて詳しくは、Web ページ

http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU を参照してください。

[Error Output]

評価対象設定が見つからない場合、このコードは障害の理由を記録しま す。

[Output]

評価対象設定が見つかった場合、このコードは ASU.exe ファイルの検索 結果を記録します。

- IBM Configuration Capture は、起動プロセスでシステム・ドライブの IBM_Support¥DCM¥logs フォルダーにログ・ファイルを記録します。例えば、ご使 用のシステム・ドライブが C: の場合、ログ・ファイルは C:¥IBM_Support¥DMC¥logs¥ フォルダーの下に記録されます。
- IBM Configuration Capture は、IBM サーバーからのすべての IMM/UEFI/UEFI (Romley プラットフォーム) 設定値をキャプチャーできますが、キャプチャーさ れた設定値の一部は IBM Configuration Pack Editor の共通設定リストに組み込ま れない場合があります。 IBM Configuration Pack Editor は、その設定がインポー トされた後では、その設定をリストできません。 Editor はその設定の型を String 型とみなします。

	ack Editor - Setting Edi	itor		
elect the property th roperty, type it in the	at you wish to monitor fo Property Name field.	or compliance. If the	property list does not incl	ude the desired
Property Name:	IMM.DuplexAutoDisable			
)escription:				<u>^</u>
comparator:	Equals	•	Value: Auto	<u>*</u>
everity:	Information	*		
Remediate nor be failed if the t	ncompliant IMM/UEFI se larget setting is readonly	tting values on clier y.	nt automatically. The reme	diation action may
When the proper Otherwise, the p	ty "IMM.DuplexAutoDisa roperty is non-complian	ble" "Equals" "Auto" t and returns a seve	, the property is compliant rity of "Information".	on the endpoint.

図 111 では、IMM.DuplexAutoDisable プロパティーは IBM Configuration Pack Editor の共通設定リストにないため、「詳細」フィールドおよび「予測値」フィ ールドは空になります。 IBM Configuration Pack Editor は、 IMM.DuplexAutoDisable プロパティーの型を String とみなします。各種の型につ いて詳しくは、15 ページの表 1 を参照してください。

著作権表示および商標

著作権表示

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合 があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービス に言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能 であることを意味するものではありません。

これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、 プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品 とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行ってい ただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を 保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実 施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わ せは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場 合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的 に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随 時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を 行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありませ

ん。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプロ グラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の 相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする 方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation

MW9A/050

5600 Cottle Road

San Jose, CA 95193

U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができま すが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、 IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれ と同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定された ものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。 一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値 が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一 部の測定値が、推定値である可能性があります。

実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適した データを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公 に利用可能なソースから入手したものです。 IBM は、それらの製品のテストは行 っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の 要求については確証できません。 IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それら の製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。よ り具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品 などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであ り、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎませ ん。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示さ れない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それ ぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リスト については、http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe、Acrobat、および Portable Document Format (PDF) は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標です。

Intel[®]、Itanium[®]、および Pentium[®] は、Intel Corporation の米国およびその他の国に おける商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国にお ける商標です。

 $104 \qquad \text{System x IBM Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v5.0 } \textit{l} - \textit{v} - \textit{v} + \textit$



Printed in Japan